

トップが語る「大学」と高校生へのメッセージ・特別編

「世界の中の日本人」になろう

今春、東京大学の入学式で、海外へ出ることの大切さなどを説き、最後に「今を生きよ」と後輩たちを激励した黒川清先生。昨年から今春にかけては、日本の憲政史上初となる国会東京電力福島原子力発電所事故調査委員会(以下、国会事故調)の委員長として活躍、アメリカ科学振興協会(AAAS)からは「科学の自由と責任賞」を受賞し、アメリカの雑誌『Foreign Policy』では「2012年 世界の代表的な論者100人」※2に選ばれました。自らを日本という閉鎖社会での「出る杭」に譬え、グローバル化の中で立ちすくむ日本社会に鋭い警鐘を鳴らされてきた黒川清先生★に、グローバル社会の中で求められる学びについてお聞きしました。

★黒川先生は日米で医師、教授、帰国してからはさらに医学部長として医学部や大学病院の改革に注力されてこられたとともに、日本学術会議※3、内閣府総合科学技術会議、内閣特別顧問など、政府の重要なポストを歴任され、日本の科学技術政策等についての提言などをまとめられてきた。



政策研究大学院大学 アカデミックフェロー 黒川 清 先生

1955年、成蹊高等学校卒業。1962年3月東京大学医学部卒業。東京大学医学部付属病院インターンを経て、1963～1967年まで東京大学医学部第一内科に勤務。医学研究科大学院にて医学博士取得。1969～1983年在米。ペンシルバニア大学などを経て、UCLA (University of California at Los Angeles) 医学部内科の教授、1983年より東京大学医学部第四内科 助教授。1989年、東京大学医学部第一内科 教授。1996年、東海大学 教授、医学部長、2003年、日本学術会議会長、内閣府総合科学技術会議議員、2006年、内閣特別顧問、政策研究大学院大学教授。2009年11月より同アカデミックフェロー。日本医療政策機構、IMPACT Foundation Japan 代表理事も兼務。紫綬褒章、フランス共和国よりレジオンドヌール勲章 シュバリエ、旭日重光章など受賞多数。主な著書に『世界級キャリアのつくり方』、『大学病院革命』、『イノベーション思考法』など。

※1 American Association of Advancement of ScienceによるAward for Scientific Freedom and Responsibility。AAASは世界的に著名な科学雑誌『サイエンス』を発行する。  
※2 Foreign Policyの100 Top Global Thinkers 2012  
※3 日本の内閣府の特別の機関のひとつ。科学者の内外に対する代表機関であり、科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させることを目的とする(日本学術会議法第2条)。内閣総理大臣に任命された210人の会員により構成される(第7条)。2005年に総務省から移管された。特別の機関であるため、行政・立法・司法の三大権限は有していないが、政策提言や政策意見具申などの権限は有している。黒川氏は2003年から2006年まで会長を務めた。

グローバル社会とそこで問題と なっていること 今日グローバル社会は、東西冷戦の終焉と、同時期に始まったインターネットによる産業革命以来の産業・社会構造の変化によってもたらされたと考えられています。ここで大きな問題となっているのが、人口爆発とグローバルエコノ

ミーによる格差拡大とその顕在化です。人口爆発は医学や様々な科学や技術の進歩によるものですが、一方で環境・エネルギー問題を惹き起こしています。グローバルエコノミーでは資本も生産工場も、政府が自分たちに有利な政策を行っている国や、労働力が豊富で賃金の安いところを求めて世界中を移動するため、中間層は減少し格差は拡大していきます。世界的な若者の失

業問題もこのことと無関係ではないでしょう。ツイッターやフェイスブックの利用者は膨大ですが、これらの企業で給与をもらっている人はほんの1握り。世界全体では、トップ1%の収入がその他99%の収入におおよそ当たるという見方もあります。しかもこうした現実には、ネットへのアクセスを容易にしたタッチパネルの 아이폰 (2007年発売)、アイ

パッド(2010年発売)などの出現で、世界の極めて多くの人の知るところとなります。貧富の拡大やアフリカなどの貧困が、今あらためて問題とされているのはこのためでもあるのです。人々の不満に火がつくと、それがアラブの春を生み、エジプト、リビア、シリアへと連鎖していく。2月のアルジェリアの問題、最近のトルコやエジプトの再度の混乱も同じ理由によ



発行所:くらむぼん出版 〒531-0071 大阪市北区中津1-14-2 TEL06(6372)5372 FAX06(6372)5374

E-mail KYA01311@nifty.com http://www.djweb.jp/

「やればできる」をやろう!

Contents

- 02 トピックス 明治大学・立教大学・国際大学「国際協力人材」育成プログラムがスタート 早稲田大学が受入留学生数、派遣留学生数ともに全国1位に! 早稲田大学とCULCONが国際シンポジウムを開催
- 03 進路のヒント グローバル人材になろう! グローバル教養学部(GIS)と国際文化学部を核に裾野を拡大 法政大学グローバル人材開発センター長 曾村充利先生
- 04 言語・文化・芸術——「文化」だけではない文学部でグローバルな視点を 神戸松蔭女子学院大学文学部長 柏本吉章先生
- 05 学生の声 英語を部内公用語に! (京大アメフト部ギャングスターズの挑戦) 目指せ英語プラス1
- 06 文化人類学から歴史にアプローチ 佛教大学歴史学部歴史文化学科 鈴木文子先生
- 07 グローバル社会を生き抜くために 上智大学特別招聘教授 藤崎一郎先生
- 08 東大生が語る! グローバル人材の基盤、高校ではこんな英語を勉強したかった!
- 09 AO入試合格者は語る
- 10 学ぼう! 物理/ どうして数学を学ぶの?
- 11 旬の京野菜/ 書評
- 12 グローバル人材を育てる! 京都文教大学 総合社会学部長 松田凡先生

読者アンケート 読者アンケートを募集しています。左のバーコードを読み取り、アンケートにお答えください。

黒川先生が考える 日本の大学の問題点

グローバル社会の進展に伴い、日本の大学の閉鎖性および国際競争力の低下が明らかになり、産業界や官界も危機感を募らせている。もっとも、産業界にも官界にも同様の問題はあがる。世界の大学ランキングにおいても地位の低下は否めない。グローバル社会では大学の序列も変わる。世界に視野を広げれば東京大学はNO.1ではない、医学部入学を巡る熾烈な競争は、先進国の中では異常な光景としか映らない。

日本の大学では、訪れる留学生も海外へ出て行く学生も極めて少ない。外国人教員の少なさも際立つ。海外から留学生を呼ぶための英語による授業に至ってはに等しい。学部は縦割り組織で、その上に乗る大学院は、トップ大学では自前主義がまだに支配的で、囲い込んだ学生を型にはめて純粋培養する一種の家族制度が温存されている。教員も、「四行教授」とよく言っているが、職歴の少なさがその権威の象徴であるかのようだ。女性教員の比率も異常に低い。これも大学に限ったことではないが、

グローバル社会は、「フラット」な社会とも言われるように、そこでの人と人とのつながりは国境を無視した「タテ」型から「ヨコ」型になり、所属ではなく「私は何者か」、つまり世界から見える個人のありのままの姿、その価値と力量が問われます。人と違っていること、ユニークであることが強みとなり、ネットワークが、ヨコのつながりを持つことが、

個人の大きな価値にもなりません。今や世界の誰もが、この問題から目が外せません。それは明日にはわが身に及ぶかもしれないからです。 グローバル社会では各国は相互依存を深め、もはや一国だけの問題というものはありえません。しかも同時に、それぞれの国の固有の問題は国際協力を難しくしますから、一方でそれは分断の危機さえはらんでいます。世界は極めて脆弱な状態にあり、近未来も予測不能です。この20~30年で、世界は大きく変化するに違いないと考えているのは、私一人ではないはず。 グローバル社会と日本

グローバル社会は、「フラット」な社会とも言われるように、そこでの人と人とのつながりは国境を無視した「タテ」型から「ヨコ」型になり、所属ではなく「私は何者か」、つまり世界から見える個人のありのままの姿、その価値と力量が問われます。人と違っていること、ユニークであることが強みとなり、ネットワークが、ヨコのつながりを持つことが、

個人の大きな価値にもなりません。今や世界の誰もが、この問題から目が外せません。それは明日にはわが身に及ぶかもしれないからです。 グローバル社会では各国は相互依存を深め、もはや一国だけの問題というものはありえません。しかも同時に、それぞれの国の固有の問題は国際協力を難しくしますから、一方でそれは分断の危機さえはらんでいます。世界は極めて脆弱な状態にあり、近未来も予測不能です。この20~30年で、世界は大きく変化するに違いないと考えているのは、私一人ではないはず。 グローバル社会と日本

この問題から目が外せません。それは明日にはわが身に及ぶかもしれないからです。 グローバル社会では各国は相互依存を深め、もはや一国だけの問題というものはありえません。しかも同時に、それぞれの国の固有の問題は国際協力を難しくしますから、一方でそれは分断の危機さえはらんでいます。世界は極めて脆弱な状態にあり、近未来も予測不能です。この20~30年で、世界は大きく変化するに違いないと考えているのは、私一人ではないはず。 グローバル社会と日本

この問題から目が外せません。それは明日にはわが身に及ぶかもしれないからです。 グローバル社会では各国は相互依存を深め、もはや一国だけの問題というものはありえません。しかも同時に、それぞれの国の固有の問題は国際協力を難しくしますから、一方でそれは分断の危機さえはらんでいます。世界は極めて脆弱な状態にあり、近未来も予測不能です。この20~30年で、世界は大きく変化するに違いないと考えているのは、私一人ではないはず。 グローバル社会と日本

日本の大学と教育界へ、黒川先生の提言

大学自体を根本から変えることは、大きな組織を変えるのと同じでとても難しい。だとすれば、国のお金が投入されている国立大学だけでも、強制的に全授業の20%を英語で、学生の20%を1年でもよいから交換留学生としてはどうだろうか。10%から始めてもよい。これだけでもずいぶん変わるのではないか。かつて日本で学部教育を受けた中国をはじめ多くのアジアの人たちが、母国と日本とのよい関係を作ってくれたように、彼らが国家間の信頼の構築に寄与してくれる効果は大きい。これは国家の安全保障の根幹にもかかわることだ。世界を大きな枠組みで、考えて、行動することだ。

さすがに上場企業の役員数でみれば、1985年、1995年、2001年で、東大卒は約4600人(1位)から2500人(1位)へ、さらには950人(3位)へと激減しています。しかし役所はそう素早くは変わらないでしょう、政治家も。これはなにを意味するのか、みなさんにぜひ考えてほしいと思います。

グローバル社会における大学での学び

グローバル社会の大学では、多様性を経験して多角的に自分や世界を見直すことや、対話と実体験を取り入れた学びがますます大事になってきます。予測不能の未来に備えて、次世代を担う若者が、国家を超えて世界の同世代と個々のつながりを深め、信頼関係を築いておく必要もあります。実際に机を並べて勉強し、ともに働き、様々な実体験を共有するのです。メール

やフェイスブックなどだけで済ますことは決してできないからです。こうしたことに気付いている世界の主要大学は、ここ10年で、海外留学や異文化体験の機会を増やすなど学部教育を大きく転換させてきました。日本の大学もようやくそれに気付き、改革を始めましたが、その差は大きく開いてしまいました。しかも世界の主要大学の多くは日本の大学とちがいで、学部は一括入学とし、リベラルアーツ教育を通じて得意なもの、好きなことを見つけたらと位置付けているため、その差は開く一方かも知れません。

海外へ出よう

ではどうしたらよいのか。海外へ出てみるというのはいくつかの大きな意義があります。勉強漬けも選り好みも、春休みや夏休みを利用して短期でもいいから海外へ出てみる。長期なら高校生にはアメリカンフィロソフィサービス(AFS)などというものがあります。そして大学へ入ったらまた海外へ出るのもいいでしょう。

★アメリカではこれが大学の定義になっていると言っても過言ではない。ハーバード大学は100年前に今のような形に改革された。またアメリカ、カナダでは医学部は日本とは違い、学部を卒業してから進む4年制のメディカルスクールになっている。

TOPICS

明治大学・立教大学・国際大学(IUJ:新潟県南魚沼市)の学生が3大学のキャンパスでともに学びあう《国際協力人材》育成プログラムがスタート

国際社会が取り組むべき地球規模の課題を解決するための知識や能力を育成する新しい形のプログラムで、明治・立教の学部生に向けて全て英語で展開される。2大学の持つ教育リソースと、世界的な評価が高い国際大学が国際協力に関する教養資源を提供し、高い専門性をもつキャリアを形成し、国際分野で活躍できる人材の育成を目指す。

講される。後者はIUJの大学院生をTAとして配置し、『国際協力リテラシー』(2単位)と、ゼミナール形式でフィールド・スタディなどを行う『アクティブ・リサーチ』(4単位※2014年度開講)で、IUJで夏期集中講座として行われる。明治大学では各講座について定員を20から80名としているが、講座によっては延べ1030名の応募があったという。

プログラムはグローバル共通教養を自らの言葉で表現できる能力を身につける「モチベーション・パス」と、国際公務分野を目指す人材を輩出するための「キャリア・パス」で構成される。前者は必修の「グローバル・イシュー各論」及び「グローバル共通教養総論」(2科目4単位)と「ソリューション・アプローチ、A~D」(3テーマ選択(3科目6単位以上)で、明治大学、立教大学の両キャンパスで開

IUJは、経済団体などが中心となり1982年に開設。国際社会で活躍する高度な専門知識を持った職業人の育成で知られる大学院大学。この春、明治大学と系列法人化協定を結び、お互いの強みを生かして世界トップクラスのグローバルユニバーシティを目指すという。

受入、派遣ともに、早稲田大学が留学生トップに!

5月に、独立行政法人日本学生支援機構が協定等に基づく日本人学生派遣数の多い大学を発表した(表1)。これによると、昨年3位の早稲田大学が1500人超でトップに、立命館大学、関西外国語大学が続いた。同機構による留学生受入数の多い大学としても、早稲田大学はここ数年1位で(表2)、今年初めて、派遣、受入ともにトップとなった。昨年策定された中長期計画Vision150の中では、創立150周年を迎える2032年までに受入、派遣ともに留学生を倍増させる目標を掲げている早稲田大学。今後も大学全体の国際化の取組から目が離せない。

表1 協定等に基づく日本人学生派遣数の多い大学

Table with 3 columns: Rank, University, 2009, 2010, 2011. Top 5: 1. 関西外国語大学 (1,514, 1,340, 1,523), 2. 立命館大学 (1,060, 1,121, 1,254), 3. 早稲田大学 (842, 900, 1,187), 4. 慶應義塾大学 (574, 653, 779), 5. 立教大学 (528, 571, 764).

表2 留学生受け入れ数の多い大学\*

Table with 6 columns: Rank, University, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012. Top 5: 1. 立命館アジア太平洋大学 (2,644, 3,114, 3,568, 3,393, 3,771), 2. 早稲田大学 (2,608, 2,786, 2,921, 3,378, 3,135), 3. 東京大学 (2,388, 2,473, 2,772, 2,877, 2,873), 4. 大阪大学 (1,439, 1,522, 2,388, 2,692, 2,526), 5. 国士館大学 (1,356, 1,509, 1,713, 1,866, 1,931).

\*これら調査は、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設における外国人留学生の在籍状況(平成24年5月1日現在)を把握し、留学生施策に関する基礎資料を得ることを目的として、実施されている。

るような世界の課題がいっぱい転がっていて、その中には必ず自分のやりたいこと、やってみたいことがあるはず。それこそがみなさんが取り組むべきことではないでしょうか。

私はみなさんのポテンシャルはかなり高いと思っています。周りの大人からは、何事においても型にはめられ、興味や関心を押し潰されてきたからではないのか。まわりの大人たちの中に、自分が憧れ、目指せようような、心を満たせるような「ロールモデル」を見出せないからなのかもしれない。私はこれまで、多くの若者が海外へ出ていくことで自分の「したいこと」、目指す姿を感じ取り開花するのをこの目で見てきました。

海外にいたことが面白くなり、私のように長い間、日本へ帰って来ないのも一つの選択肢です。これからの世界では特にそうなる可能性は高いでしょう。しかし日本人であることには変わりありませんし、そのことは日本にとつてマイナスになるどころか、日本の価値を世界に「引っぱり出す」ためのおおきな力になるにちがいない。一人ひとりが日本と世界をつなぐ「Dots」になる。そんなみなさんには、「世界のの中の日本人」「日本

本の大使」というぐらいの気概を持って、私はエールを送ります。将来を担うのはみなさんでしかありません。そして日本に今求められているのは、異端であることを恐れず、異論を唱え、出る杭になる人たちなのです。

Open Campus 2013 advertisement for Kyoto University of Design. Includes dates 8/3, 4, 17, 9/15, times 10:00-16:30, and event details like entrance explanation and campus tour. Logo: Keep Innovating. 京都産業大学 2015年、50周年を迎えます

Open Campus 2013 advertisement for Kyoto University of Design. Includes dates 8/3, 4, 17, 9/15, times 10:00-16:30, and event details like entrance explanation and campus tour. Logo: Keep Innovating. 京都産業大学 2015年、50周年を迎えます

異文化理解、高い語学力、幅広い教養と学問的な専門性に、チャレンジ精神と日本人としてのアイデンティティを加えたのが、法政大学の掲げるグローバル人材像。昨秋には、グローバル教養学部(以下GIS—Global Interdisciplinary Studies)と国際文化学部の教育の質のさらなる向上と、その受講枠を広げ、英語強化プログラム(ERP)を組み合わせた全学的なグローバル人材育成のための取組が、国のグローバル人材育成推進事業※に採択された(2012～2016年)。事業を推進するために新設されたグローバル人材開発センター長でもある曾村GIS学部長にその背景と全体像をお聞きした。

※大学教育のグローバル化を目的とした体制整備を推進する事業に対して重点的に財政支援することを目的とする。全学的な取り組みのAタイプと、学部単位のBタイプがあるが、後者でも必ず全学的な取り組みへの展開が求められている。

このような全学的な英語教育の国による採択は、昨秋の国による採択は、このような全学的な英語教育の国による採択は、

この事業では、グローバル人材の基盤となる外国語の能力に関して、卒業、修了時に学生が習得すべき具体的な能力を以下のように例示しました。

- ①GISでは一年次入学時の英語力の平均であるTOEFL iBT 80を卒業時には外国語力スタンダードとして90に高めるのを目標としているが、それを



GISが66人、国際文化ラウンジ)です。ERPは、使える英語を強化するためのプログラムで、少人数で4技能の養成を図ります。1から3までのCE (Comprehensive English) というスキル科目と、GIS Professional という展開科目、3キャンパス合計40科目で構成されます。

国際文化学部では、上記6言語について3年次から6言語について3年次から増やして公開し、意欲のある他学部生を受け入れています。さらに授業内容と連携した授業外学習のためのブレンド型学習教材を用い、高いレベルのコミュニケーション力を持ち、かつ地域

専門性の高い人材の育成を目指しています。国際文化学部は同学部所属する学生全員が参加するSAプログラムや、異文化研究、発信力強化などの実績を生かし、国際社会人の育成において全学に貢献していきま

海外留学はもとより、国際ボランティアや国際インターンシップなどを積極的に支援するのも今回の事業の大きな特徴です。今夏にはフィリピンのヌエヴァ・ヴィスカヤ州(Nueva Vizcaya)の国際インターンシップ「国際協力NGOインターンシップ」農村開発とソーシャルビジネス(国内準備期間も含め約1カ月)が行われる予定です。すでに20名の応募者が決まっています。2014年の2月から3月にかけて、ラオス、タイ、カンボジアでの「国際協力プラン」と、オーストラリアでワーキングホリデービザを取得して現地企業で本格的なインターンシップ活動を行う「ビジネスプラン」が予定されています。後者はTOEFL iBT 85が基準で募集もすでに始まっています。さらにその先には、「国際キャリア支援プログラム」も準備しています。

ERPの授業が行われ、国際ボランティア・国際インターンシップなどの受付窓口となるのがGラウン

法政大学における全学的なグローバル化への対応は、1970年代の国際交流センターの設置と奨学金による派遣留学制度の創設に始まります。1990年代には留学生がすべて英語で授業を受けることができ

在では、SAも選択、必修の異なるプログラム)がスタート。1999年には、多様な外国語・文化が学べるだけでなく、SA(スター

修正の遅いあれ多くの学部が取り入れるようになりま

育改革、グローバル化対応に大きなインパクトを与え

この事業では、グローバル人材の基盤となる外国語の能力に関して、卒業、修了時に学生が習得すべき具体的な能力を以下のように例示しました。

クリアする学生を現在の14名から、4年後の2016年には21名に増やす。

その中心となるのが、GISを除く大学院生も含めた全学生に受講のチャンスがあるERPと、新設のグローバルラウンジ(以下Gラウンジ)です。

国際文化学部では、上記6言語について3年次から6言語について3年次から増やして公開し、意欲のある他学部生を受け入れています。さらに授業内容と連携した授業外学習のためのブレンド型学習教材を用い、高いレベルのコミュニケーション力を持ち、かつ地域

専門性の高い人材の育成を目指しています。国際文化学部は同学部所属する学生全員が参加するSAプログラムや、異文化研究、発信力強化などの実績を生かし、国際社会人の育成において全学に貢献していきま

海外留学はもとより、国際ボランティアや国際インターンシップなどを積極的に支援するのも今回の事業の大きな特徴です。今夏にはフィリピンのヌエヴァ・ヴィスカヤ州(Nueva Vizcaya)の国際インターンシップ「国際協力NGOインターンシップ」農村開発とソーシャルビジネス(国内準備期間も含め約1カ月)が行われる予定です。すでに20名の応募者が決まっています。2014年の2月から3月にかけて、ラオス、タイ、カンボジアでの「国際協力プラン」と、オーストラリアでワーキングホリデービザを取得して現地企業で本格的なインターンシップ活動を行う「ビジネスプラン」が予定されています。後者はTOEFL iBT 85が基準で募集もすでに始まっています。さらにその先には、「国際キャリア支援プログラム」も準備しています。

ERPの授業が行われ、国際ボランティア・国際インターンシップなどの受付窓口となるのがGラウン

今年も、今号と次号で、グローバル人材育成についての特集をお届けします。国際、外国語系大学、学部はもちろん、年々、大学全体でのグローバル化が加速しています。今号では、大学の先進的な取り組みや学生の声を中心に紹介します。

入ればプログラム)がスタート。1999年には、多様な外国語・文化が学べるだけでなく、SA(スター

修正の遅いあれ多くの学部が取り入れるようになりま

育改革、グローバル化対応に大きなインパクトを与え

この事業では、グローバル人材の基盤となる外国語の能力に関して、卒業、修了時に学生が習得すべき具体的な能力を以下のように例示しました。

クリアする学生を現在の14名から、4年後の2016年には21名に増やす。

その中心となるのが、GISを除く大学院生も含めた全学生に受講のチャンスがあるERPと、新設のグローバルラウンジ(以下Gラウンジ)です。

国際文化学部では、上記6言語について3年次から6言語について3年次から増やして公開し、意欲のある他学部生を受け入れています。さらに授業内容と連携した授業外学習のためのブレンド型学習教材を用い、高いレベルのコミュニケーション力を持ち、かつ地域

専門性の高い人材の育成を目指しています。国際文化学部は同学部所属する学生全員が参加するSAプログラムや、異文化研究、発信力強化などの実績を生かし、国際社会人の育成において全学に貢献していきま

海外留学はもとより、国際ボランティアや国際インターンシップなどを積極的に支援するのも今回の事業の大きな特徴です。今夏にはフィリピンのヌエヴァ・ヴィスカヤ州(Nueva Vizcaya)の国際インターンシップ「国際協力NGOインターンシップ」農村開発とソーシャルビジネス(国内準備期間も含め約1カ月)が行われる予定です。すでに20名の応募者が決まっています。2014年の2月から3月にかけて、ラオス、タイ、カンボジアでの「国際協力プラン」と、オーストラリアでワーキングホリデービザを取得して現地企業で本格的なインターンシップ活動を行う「ビジネスプラン」が予定されています。後者はTOEFL iBT 85が基準で募集もすでに始まっています。さらにその先には、「国際キャリア支援プログラム」も準備しています。

ERPの授業が行われ、国際ボランティア・国際インターンシップなどの受付窓口となるのがGラウン

## 日米双方の留学生数倍増へ向けて 早稲田大学とCULCONが国際シンポジウムを開催



去る5月17日、日米文化教育交流会議(The United State - Japan Conference on Cultural and Educational Interchange:通称CULCON※)と早稲田大学の共催で「日米関係と教育交流の発展～日米双方の留学生数倍増へ向けて～」と題した国際シンポジウムが同大学早稲田キャンパスで開催された。

午前のシンポジウムでは、駐日米国大使のジョン・V・ルース氏、日系アメリカ人として初めて米国の閣僚になったノーマン・ミネタ氏が登壇。その後のパネルディスカッションでは、近年の米国における日本人留学生の減少と、日本で学ぶ米国人学生数の低迷を受けて、両国間の教育交流を活性化させて、国際的に活躍できる人材を育成するために双方で何ができるのかを、両国の各界からのパネリストらが議論した。

午後からは「日米間の学生交流の取り組み、経済界の視点」をテーマに、文部科学省の世界展開力強化事業B-1に採択の7大学(国際教養大学・慶應義塾大学・東京工業大学・東京大学・名古屋大学・早稲田大学・立命館アジア太平洋大学)の学生が参加した(もしくは参加予定)のプログラムについて、主に英語でプレゼンテーションを行った。

早くから大学の国際化を推進し、2004年には英語のみで学位を取得できる国際教養学部を開設、昨年は受入留学生数、派遣留学生数ともに全国1位になった早稲田大学では、昨年度から全学向けにGlobal Leadership Program(以下GLP)をスタート。プログラムは、英語による講義が特徴の全学共通副専攻「グローバル・リーダーシップ学」と、1年間の海外留学に加え学部4年間を通じて特別な教育カリキュラムが組まれた「グローバル・リーダーシップ・フェローズ・プログラム(GLFP)」の二本柱で展開されている。

今後のグローバル社会を牽引する力強いリーダーを育成するプログラムとして新しい試みであるGLFPでは、新入生を中心に、全学部から優秀な学生を10～15名ほど選抜し、GLFPのパートナー大学であるコロンビア大学、ジョージタウン大学、ペンシルベニア大学、カリフォルニア大学バークレー校、ワシントン大学(シアトル)のいずれかの大学に1年間留学する。参加した学生は現地でそれぞれの専門分野を学ぶとともに、ボランティアやインターンシップなど幅広い活動に参加し、帰国後は、アジア太平洋地域の問題解決に向けた研究に取り組み、プログラムの総仕上げとして国際的なフォーラムでの研究成果発表および英語による修了論文を執筆する。

第一期生としてGLFPに参加した法学部の西山さん、国際教養学部の真崎さん、政治経済学部の下村さんの3人はプログラムについての紹介の後、GLFPを帆船の一種であるスクーターでの航海にたとえ、「僕たち参加者たちはVisionを共有することで、お互い強い絆を築き、世界で中心的な役割を担う準備を進めています。大きな波も必ず乗り越えることができます」とプログラムの意義を述べた。

※日米両国間の学識者を集めて、両国間の文化・教育交流に関する諸問題を討議し、文化・教育分野での交流の増進と相互理解の向上について勧告を行うことを目的とした会議で、1961年に当時の池田総理とケネディ大統領との合意によって成立した。両国にそれぞれ学会・財界の代表者及び政府関係者等の委員で構成されるパネル委員会及び事務局を設置して、2年ごとに原則東京とワシントンで相互に会議を開催している。

GIS Professionalは英語力向上だけでなく、内容理解も求めるいわゆるコンテンツ科目で、プレゼンテーション、ディスカッション、レポート作成のすべてを英語で行う少人数制、双方向型授業です。

各科目は1コマ週1回で、CE1～3は定員10人で11週(2014年度からは15週)、GIS Professionalは定員20人で15週。各科目は主にTOEFLで受講資格が定められていて、希望者は受講申し込み時にスコアの提示が求められますし、希望者が多い場合はそのスコアで選考が行われます。目下、扱いは正課外ですが、将来的には単位化も視野に入れています。2月のトライアルでは、365名の応募の中から45名が参加。4月の正式開講には300名程が応募し、現在は150名程が受講しています。

GIS Professionalのレベルをクリアした学生は、GISの公開科目を受講することができ、また交換留学生向けに英語で実施されているESOP科目も受講することができます。ESOP科目はほぼ全ての学部でいずれも単位に認定されます。

国際文化学部では、上記6言語について3年次から6言語について3年次から増やして公開し、意欲のある他学部生を受け入れています。さらに授業内容と連携した授業外学習のためのブレンド型学習教材を用い、高いレベルのコミュニケーション力を持ち、かつ地域

# グローバル人材になるろう！

## グローバル教養学部(GIS)と国際文化学部を核に裾野を拡大

3キャンパスでグローバルラウンジ開設。ERPには初年度約300名が応募



法政大学グローバル人材開発センター長 曾村 充利 先生

Profile 1976年青山学院大学経営学部経営学卒業。82年法政大学院人文科学研究科英文学専攻博士課程修了。博士(文学)。法政大学経済学部助教授、ケンブリッジ大学客員研究員(ダーウィン・カレッジ)などを経て、91年より法政大学経済学部教授。2008年4月より同大学教養学部長。都立武蔵丘高等学校出身。

海外留学はもとより、国際ボランティアや国際インターンシップなどを積極的に支援するのも今回の事業の大きな特徴です。今夏にはフィリピンのヌエヴァ・ヴィスカヤ州(Nueva Vizcaya)の国際インターンシップ「国際協力NGOインターンシップ」農村開発とソーシャルビジネス(国内準備期間も含め約1カ月)が行われる予定です。すでに20名の応募者が決まっています。2014年の2月から3月にかけて、ラオス、タイ、カンボジアでの「国際協力プラン」と、オーストラリアでワーキングホリデービザを取得して現地企業で本格的なインターンシップ活動を行う「ビジネスプラン」が予定されています。後者はTOEFL iBT 85が基準で募集もすでに始まっています。さらにその先には、「国際キャリア支援プログラム」も準備しています。

海外留学はもとより、国際ボランティアや国際インターンシップなどを積極的に支援するのも今回の事業の大きな特徴です。今夏にはフィリピンのヌエヴァ・ヴィスカヤ州(Nueva Vizcaya)の国際インターンシップ「国際協力NGOインターンシップ」農村開発とソーシャルビジネス(国内準備期間も含め約1カ月)が行われる予定です。すでに20名の応募者が決まっています。2014年の2月から3月にかけて、ラオス、タイ、カンボジアでの「国際協力プラン」と、オーストラリアでワーキングホリデービザを取得して現地企業で本格的なインターンシップ活動を行う「ビジネスプラン」が予定されています。後者はTOEFL iBT 85が基準で募集もすでに始まっています。さらにその先には、「国際キャリア支援プログラム」も準備しています。

海外留学はもとより、国際ボランティアや国際インターンシップなどを積極的に支援するのも今回の事業の大きな特徴です。今夏にはフィリピンのヌエヴァ・ヴィスカヤ州(Nueva Vizcaya)の国際インターンシップ「国際協力NGOインターンシップ」農村開発とソーシャルビジネス(国内準備期間も含め約1カ月)が行われる予定です。すでに20名の応募者が決まっています。2014年の2月から3月にかけて、ラオス、タイ、カンボジアでの「国際協力プラン」と、オーストラリアでワーキングホリデービザを取得して現地企業で本格的なインターンシップ活動を行う「ビジネスプラン」が予定されています。後者はTOEFL iBT 85が基準で募集もすでに始まっています。さらにその先には、「国際キャリア支援プログラム」も準備しています。

ERPの授業が行われ、国際ボランティア・国際インターンシップなどの受付窓口となるのがGラウン

グローバル人材になろう!

全ての学科が世界を視野に 文学部から見える世界の景色

英語学科は、それまでの英語英米文学科の伝統を受け継ぎながら、高度な英語力の習得を目指す「英語プロフェッショナル専修」と、英語科員など英語を使った高いコミュニケーション能力を必要とする職業を目指す「グローバルコミュニケーション2専修」の2専修を設けて、出口を強く意識したカリキュラム構成となつています。

入試の段階から専修別で募集するため、英語を学ぶ中でも自分はこれをやるう!といった目標を入学時から持つことで、意欲も高く、1年次からよいスタートが切れています。

日本語日本文化学科では、日本語のコミュニケーション能力を重視しながら、ことばとしての日本語を究める現代日本語専修と、日本の文化や文法について豊かな教養を身につける日本文化専修の2専修を設けています。

世界の一言語としての日本語、世界の中の日本語の文化の意味づけを学ぶ学科で、アジア言語の習得にも力を入れるなど、世界を視野に入れている

のが特徴です。また文学部では、学際横断的な学びができるので、英語に力を入れて学ぶ学生も多くいます。外国人に日本語を教える日本語教師を目指すコースでは、英語力を磨くことが必須です。

総合文芸学科もカリキュラムを編成し直し、総合文芸コース、メディア・広報コースともに、欧米の文芸を学ぶ学生が原典の語学を積極的に学べるようにするなど、他学科の科目を学びやすくしました。多彩な文化・芸術に触れることで培った表現力や感性を活かし、学芸員や司書として活躍する卒業生が多いのもこの学科の特徴です。

リニューアルした文学部は、学部全体で異文化理解、異文化コミュニケーション能力を高めることに力を入れています。

※所属する専修の科目群(総合文芸学科は5つのコア科目群から専門課程での専修の中心テーマとなる「メジャー」を1つ選び、「マイジャー」を2つ選べ、他の科目については身につけたことや興味・関心に応じて専修学科を横断して科目群を複数選べるようになっている。

外国語サロンなど 語学に注力

英語学科では 中期留学が好評

開学以来、英語教育に力を入れてきた本学ですが、習熟度別のクラス

英国聖公会によって創設されたミッションスクールを起源に、昨年、創立120周年を迎えた神戸松蔭女子学院大学。神戸港を一望できる緑豊かな六甲の山の手キャンパスには、中世ヨーロッパの修道院を彷彿とさせるレンガ色の学舎が並びます。2011年にリニューアルした文学部では、外国語教育や異文化理解教育をさらに強化するとともに、文学部全体の国際化にも積極的です。国際化の先頭に立つ英語学科の取り組みを中心に、文学部の学びについて文学部長の柏本吉章先生にお聞きしました。

神戸松蔭女子学院大学 文学部

言語・文化・芸術 文学だけではない文学部で グローバルな視点を



神戸松蔭女子学院大学 文学部長 英語学科 教授 柏本 吉章 先生

Profile 大阪大学文学部卒業、同大学院文学研究科を修了後、大阪大学文学部助手、徳島大学教養部講師を経て、1987年より神戸松蔭女子学院大学に勤務。大阪府立八尾高等学校出身。

それが後の留学や学習にもプラスになっているように思います。短期、中期、長期の留学制度も充実しています。英語の語学研修はもちろんのこと、夏休みにフランスから講師を招いて実施するフランス語集中講座も人気です。英語学科では、約4ヶ月の英語圏への中期留学の制度が設けられています。留学中の単位は本学の単位に計算されますので、4年間で卒業に影響が生まれません。なお、中期留学に参加する学生のために、本学の半期学費分を奨学金として給付する制度が整備されています。優秀な学生は最長1年まで延長することも可能ですし、参加した学生からの評判はともよいですね。行き先はアメリカ、イギリス、オーストラリア、今年からニュージーランドが加わり4カ国になりました。現地では1人ずつ別の家庭にホームステイをして、現地大学の留学生向けの授業を受けます。ほとんどの場合、同じ学校へ行っている海外でも話すことに困らなかつたというように、学びプラスの経験が、国際化がますます進む世の中で必ず自分の強みになると思いますし、キャリアデザインにおいても活かされていると思います。私はいつも研究室のドアを開けて、誰でも気軽に話しかけられるようにしているのですが、教員と学生の距離が近いのも本学の魅力の一つ。ちょうどいい規模だからこそできることだと思いますが、教員が留学先や学業、就職についてはもちろん、色々な相談にのることも多く、私自身、いつもそっと背中を押して、学生が一步踏み出すのを手伝えればと思っています。第一志望ではなく入学した学生もいますが「この大学に来てよかった」と言ってくれる学生が多いのが、一番うれしいことですね。今後は、国際交流の機会を増やすためにも、海外インターンシップや、英語のみを使って行う国内インターンシップなどの開発も検討中です。また、現在は対象が英語学科のみ(英語プロフェッショナル専修は必修)の中期留学を、他学科にも広げたいと考えています。TOEICなどの点数の伸びを見ても、やはり国内だけで学習するよりも英語力が格段にアップしますし、異文化に直接触れるかけがえのない経験になりますから。

編成やTOEICなどの各種検定試験への対策に加え、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語といった外国語科目も開講されていますから、意欲さえあれば多言語習得も可能です。大学にいながら無料で英会話教室に通える人気のイングリッシュ・アイランドは、昼休みや講義の空き時間などにネイティブ・スピーカーの教員と話せるサロンです。授業とは違った雰囲気です。自由な会話を楽しめますし、学生や学部を超えて学生が集まるため、留学などの情報交換の場にもなっています。当初は英語のみでしたが、現在では曜日を決めてフランス語、韓国語、中国語のサロンも開いていて、今後さらに充実させる方針です。国際交流にも力を入れていて、毎年、アメリカ(デラウェア大学、オハイオ大学)や台湾から日本語・日本文化研修のための留学生を受け入れています。3週間ほどの滞在中は、本学の学生がボランティアとして日本語学習のチューターや日本文化体験などのサポートをしています。留学生との交流を通して気づかされることも多く、それがその後の留学や学習にもプラスになっているように思います。短期、中期、長期の留学制度も充実しています。英語の語学研修はもちろんのこと、夏休みにフランスから講師を招いて実施するフランス語集中講座も人気です。英語学科では、約4ヶ月の英語圏への中期留学の制度が設けられています。留学中の単位は本学の単位に計算されますので、4年間で卒業に影響が生まれません。なお、中期留学に参加する学生のために、本学の半期学費分を奨学金として給付する制度が整備されています。優秀な学生は最長1年まで延長することも可能ですし、参加した学生からの評判はともよいですね。行き先はアメリカ、イギリス、オーストラリア、今年からニュージーランドが加わり4カ国になりました。現地では1人ずつ別の家庭にホームステイをして、現地大学の留学生向けの授業を受けます。ほとんどの場合、同じ学校へ行っている海外でも話すことに困らなかつたというように、学びプラスの経験が、国際化がますます進む世の中で必ず自分の強みになると思いますし、キャリアデザインにおいても活かされていると思います。私はいつも研究室のドアを開けて、誰でも気軽に話しかけられるようにしているのですが、教員と学生の距離が近いのも本学の魅力の一つ。ちょうどいい規模だからこそできることだと思いますが、教員が留学先や学業、就職についてはもちろん、色々な相談にのることも多く、私自身、いつもそっと背中を押して、学生が一步踏み出すのを手伝えればと思っています。第一志望ではなく入学した学生もいますが「この大学に来てよかった」と言ってくれる学生が多いのが、一番うれしいことですね。今後は、国際交流の機会を増やすためにも、海外インターンシップや、英語のみを使って行う国内インターンシップなどの開発も検討中です。また、現在は対象が英語学科のみ(英語プロフェッショナル専修は必修)の中期留学を、他学科にも広げたいと考えています。TOEICなどの点数の伸びを見ても、やはり国内だけで学習するよりも英語力が格段にアップしますし、異文化に直接触れるかけがえのない経験になりますから。



神戸松蔭なら、あなたが学びたいことを自由に楽しくスキルにできる。夏の「恋する」オープンキャンパス開催 7/21日・28日・8/10日・25日・9/8日 神戸松蔭女子学院大学

グローバル化が進む中、内向きといわれてきた大学生の中にも、英語はできて当たり前から、海外留学するのも当たり前という流れも生まれつつあるようです。東京外国語大学の4年生ですでに就職の内定している稲垣雅人くん、今春入学した酒井真由子さんに外国語系大学の学びや、語学についての熱い思いを語っていただきました。

# 目指せ英語1プラス

## 話者人口が多く、またぐ国も多い

### 私のプラス1 スペイン語



東京外国語大学 外国語学部 欧米第二課程 スペイン語専攻4年 稲垣 雅人くん (愛知県立知立東高校出身) (三菱商事(株)に内定)

### 後輩へのメッセージ

就職についていえば、最近では大学名は関係ないなどといわれますが、まだまだ企業によっては大学名で足切りをするところも多いですから、大学受験ではできるだけ難関大学を目指すべきだと思います。大学での学びの満足度という点でいえば、やはり環境のよいところ、つまりやる気のある仲間と力のある先生がいて、カリキュラムの充実しているところを目指すべきです。語学に関連したことを学ぶなら、僕はやはり東京外国語大学は最高の環境だと思います。インプット中心の授業も多いですが、2年の時の「劇劇」などアウトプットの機会も多く、実用性を求めるのなら日常的にもそれに応えてくれる場や機会もたくさんあります。留学に関して一言。外国語系大学ということもあるでしょうが、周りを見ると留学マインドはとても高い。中には進路決定を先延ばしするために留学している人もいます。英語ができるのが当たり前になってきたのと同じように、留学も当たり前という時代になりつつありますから、そこで何を身につけたのかが問われるようになってきていると思います。

就職活動を始めてすぐ、シヨックを受けたのは、得意だと思っていた外国語が採用側からはできて当たり前前のように捉えられていたことでした。それなら自分の強味は一体どこにあるのか。自分なりに考えたのが、一つは体育会系のバレーボール部でキャプテンをしていたこと、そしてもう一つが、9カ月間のスペインへの私費留学

の経験でした。僕が外国語に興味を持ったのは中学時代。もちろんその時は英語。高校時代は英語が得意で、それが昂じて大学は語学を学ぶのに最高の環境といわれる東京外国語大学を目指しました。スペイン語を目指すようになったのは、予備校の恩師から、世界には英語の

まだ大学に入ったばかりで、具体的な将来の夢はありません。今はただ、毎日がとても楽しいというだけです。もともと先輩と同じで中学時代から外国語つまり英語を使えるようになることに憧れていて、高校時代には漠然と外国語系大学を目指していました。ある時、ドイツ語のオペラを見る機会があって、ドイツ語やオーストリアにも憧れを持つようになりました。そしてウィーンについて調べていくうちにブラハを知り、オーストリアの隣国、チェコに興味を持つようになりました。当初はドイツ語を学ぼうと地元の国立を目

に飲みながら、スペイン語でお互いわかりあえるまで話し合ったことがとてもいい経験になりました。就職活動でいえば、ここが自分の大きなセールスポイントになったのだと思っています。英語に関しては、大がかりな経験はなかったため、勉強しなかつたため、友人ができましたし、何よりも面倒な問題が起きた時にお酒を一緒に

### 私のプラス1 チェコ語



東京外国語大学 言語文化学部 チェコ語専攻1年 酒井 真由子さん (名古屋市立桜台高校出身)

指していましたが、高校3年の時、予備校の先生に同じ目指すなら日本一のことを、と背中を押され、東京外国語大学を第一志望にしました。東京外国語大学について調べてみると、なんとチェコ語もあります。日本ではとてもマイナーで、実用性もほとんどなさそうですが、あえてマイナーなものを専攻することで、新しい感覚が身につくのではないかと考えました。プラスワンですからメジャーなものもいいけれど、マイナーなところにも目を向けるのもいいと。大学へ入って数カ月たちますが、正直言ってい意味で裏切られたと

## 京大アメフト部 キャングスターズの挑戦



京都大学 アメリカンフットボール部 勧誘委員(法学部2年生) 高井 洋希くん (大阪府立天王寺高校出身)

## 英語を 部内公用語に!

京大アメフト部という「授業もそこそこに朝から晩までアメフト漬けの日々を送っている男たち」などというイメージがあるかもしれない。しかし実際はプレイヤー以外にも、対戦相手の分析や戦略作りを専門に担当するアナライジングスタッフや、練習や試合

の運営に加えて、ひとりでも多くの人に試合に足を運んでもらえるよう企画、宣伝を考えるマネージャーなど、150人ものメンバーからなる大所帯。選手、スタッフが一つになり、日本一という高い目標に向かって日々、取り組んでいます。アメリカンフットボールは本場アメリカの文化であるので、私たちは英語で戦術を考え、英語圏の文化をそのまま取り入れることで、チームの勝利につながると考えています。春休みに部員がアメリカへ渡り、アメフトをしている現地の大学生と寝食を共にし、一緒に練習を行

います。また毎年、アメリカの大学生と関西の大学生が混成チームを作って戦うNEW ERA BOWLイベントに弊部も参加しています。毎年たくさんの方々が参加して、選手が選出され海外の大学生と交流を行っています。ちなみに今年、サンノゼ州立大学、スタンフォード大学の選手やコーチ、スタッフを迎えて京セラドームで開催されました。そんなキャングスターズの新たな取組の一つが「英語の部内公用語化」の推進です。西村新監督が「2、3年のうちに本場アメリカからコーチを招へいし、ミーティングは英語で行うようにする」と発表したのをきっかけに、部員の有志がまず始めたのが「English Season」。週に一度ボランティアのネイティブスピーカーにクラブハウスへ来てもらって、日本語禁止で1時間半ほどおしゃべりを楽しみます。参加は任意ですが、毎週30人ほどの部員が集まり、アメフト以外の話題も交えて

用語化」の推進です。西村新監督が「2、3年のうちに本場アメリカからコーチを招へいし、ミーティングは英語で行うようにする」と発表したのをきっかけに、部員の有志がまず始めたのが「English Season」。週に一度ボランティアのネイティブスピーカーにクラブハウスへ来てもらって、日本語禁止で1時間半ほどおしゃべりを楽しみます。参加は任意ですが、毎週30人ほどの部員が集まり、アメフト以外の話題も交えて

**夏のオープンキャンパス2013**

7/28日 8/30日・11日・18日・25日 9/8日・15日

10:00~15:30

受付開始9:30 受付終了15:00

内容

- ★体験授業
- ★学内ツアー
- ★大学・学科紹介
- ★在学生とのフリートーク「しゃべり場」
- ★軽食サービス
- ★展示・相談 など

Stella Maris 神戸海星女子学院大学

〒657-0805 兵庫県神戸市灘区青谷町2-7-1 神戸海星女子学院大学 入試課

TEL: 078-801-4117 (直通) FAX: 078-801-3553 E-mail: nyuushi@kaisei.ac.jp

グローバル人材になろう！  
生活文化からグローバルな歴史を考える

文化人類学、そして  
韓国・朝鮮との出会い

忠清南道から山陰へ

私は、最初から文化人類学を目指して大学に入ったわけではありませ

私は、1980年代、4年間の留学生活の中で、韓国西部に位置する忠清南道の離島に約1年間滞

文化人類学の基本は、現地でも長期生活しての調査、いわゆる「住み込み調査」で、その中から住民の人生観や世界観、文化や社会といったものを考えます。私が院生当

帰国後、鳥根の大学に勤めるようになって数年経つと、忙しくてなかなか韓国にも行けなかったため、地元山陰地方の

佛教大学 歴史学部 歴史文化学科

具体的な人々の営みに密着したフィールドワークのデータをもとに、マクロな文化や社会について考える、人間に関わることならどんなことでも対象にできる、文化人類学。「自文化に拘束された自己を知ることこそ文化人類学の本来の目的」とお話しくださったのは、佛教大学歴史学部の鈴木文子先生。グローバルな視点から、人々の生活や文化、歴史を捉え直す方法論やその魅力についてお聞きしました。

文化人類学から歴史にアプローチ



佛教大学 歴史学部 歴史文化学科 教授 鈴木 文子先生

Profile 甲南大学大学院人文科学研究科博士後期課程単位取得。鳥根大学講師、助教授を経て、2005年より佛教大学歴史学部助教授。08年より現職。共著に「変貌する韓国社会」、「ものから見た朝鮮民俗文化」など。

の「活きた生活文化」について話を聞いてみると、日本人と朝鮮人が対立していた事例もある一方、友好的な関係を築けていたケースがあったことも事実です。ただその中

文化人類学を学ぶにあたって一番大切なのは、その方法論を身につけることです。ある信仰・宗教を調べる際にも、実際に人々の毎日の仕事や家族、友人関係のあり方など、日常生活に密着し、マクロな背景からその信仰との関係を考察することから始めます。いきなり全体を見るのは大変です。まずフィールドワークをする地域を選ぶ

民衆の生活という視点から歴史をみる

た朝鮮玩具などの土産物やプロバガンダ用のポスターなど当時の世相を知ることができると品々です。それを機に、日本の地域社会と植民地の関係に興味を持つようになりまし

ストーリー(口述の歴史)をまとめていくと、従来考えられてきたマクロな歴史とは異なった歴史が浮かび上がってきます。すでに日本の植民地時代の朝鮮についての調査・研究は多々ありますが、実際に暮らしていた一般庶民の生活に着目したものはそれほどありません

このように人類学的方法で歴史を記述すること、マクロな歴史では抽象的にラベリングされている事象を生活実感に近い感覚で認識することができるようになりますし、そうした感性こそ、私たちが植民地支配や戦争を考える上で今後とも忘れてはならないものだと思います。

文化人類学イコール異文化研究イコール外国の研究と考える人も多いようですが、日本人でも自分と他者が異なるように、外国かどうかは問題では

以来私は、朝鮮で実際に生活をしてきた方々に直接話を伺ったり、逆に日本にやってきた在日コリアン(オールドカマー)の方からの話をまとめた

当時の日本人・朝鮮人がどのように近所付き合いをしていたかとか、買い物や食生活の様子など



朝鮮玩具 (祐生会いの館蔵)

高校生へのメッセージ

歴史学部を選んで入ってくる学生には、かなり明確な目的意識を持った人が多い。しかし、大学で学ぶ歴史学は、高校までに学んだ歴史とはずいぶん違います。とくに歴史文化学科では、これまでの政治、経済中心の歴史を日常の生活や文化から見直すことに重きを置いていますから、大学では先入観を捨て、歴史とは何かを学び直すぐらいの気持ちで取り組んでほしいと思います。その際、生活実感から地域の特徴を探るといって文化人類学は、最適な手法を提供できると思います。

佛教大学は7学部14学科。学科もキャンパスも、さらに充実します。

仏教学部	文学部	歴史学部	教育学部
□仏教学科	□日本文学科	□歴史学科	□教育学科
	□中国学科	□歴史文化学科	□臨床心理学科
	□英米学科		
社会学部	社会福祉学部	保健医療技術学部	
□現代社会学科	□社会福祉学科	□理学療法学科	
□公共政策学科		□作業療法学科	
		□看護学科	

お問い合わせは入学部へ Tel.075-491-2141(代) 〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96

オープンキャンパス 2013 7/21sun. 28sun. 8/4sun. 10/13sun. @紫野キャンパス・二条キャンパス

わたしにできることはなんだろう。

# 元外交官が語る

昨年、43年に亘る外交官生活にピリオドを打ち、今春からは国際政治の表舞台でのご経験を学生に伝えるべく、上智大学などで教鞭をとられる藤崎一郎元アメリカ国駐劔特命全権大使。「まだ賞味期限のあるうちに、若い人たちに伝えたいことがある」と穏やかに笑って話される先生に、グローバル人材を目指すにあたって見失ってはならないことについてアドバイスを伺った。

## グローバル人材を目指す前に考えてみる必要がある

私が今春から上智大学で行っている授業に「戦略ゼミ」というものがあります。大学院生対象で、安全保障、アジア諸国との関係、中東情勢、国際機関・経済の4分野の順に学生がテーマを選び、みなで討論するというものです。ここで私が最も大事にしているのが資料を「深読み」し、エッセンスをとらえ、簡潔に表明すること。外交や政治問題、法的問題にしろ、何が基本の文書か、膨大な情報の中から何がエッセンスかを見極め、簡潔によく整理されたプレゼンテーションができることが必要です。昨今の「グローバル人材の養成」という課題についても同様に考えてみる必要があります。

「留学しない」「覇気がない」「冒険しない」「内向きだ」――これらはグローバル化の進む中、日本の大人たちが若者に対して抱いている懸念を表した言葉ですが、私は愚痴を言う前にもっと考えることがあるのではないかと思います。一つは、日本社会ではアメリカと違って、リスクを取りにくいということ。アメリカでは失敗しても二度、三度とやり直せますが、日本ではそ

うもいきません。そんな中でリスクを取れと言われても、若者としては冗談ではないといった心境ではないのでしょうか。責任をとるのは若者自身でしかありません。リスクをとれと説教する人は一握りの成功者です。私が学生だったら絶対いやだと思うでしょう。海外へ出て行けば就活の道も狭まる。

学校の英語教育の問題もあります。いくら留学を勧められても、今の語学教育を受けただけでは、いきなり英語圏の有力な大学の授業にはついていけません。最近では小学校でも英語の時間が設けられていますが、教える先生方も英語を教える準備ができていないのが問題です。これでは泳ぎ方の基本を教えないどころか、浮き輪、救命具もつけさせないで、水に飛び込めと言っていると一緒です。これからの社会では確かに泳げた方がいい、泳げないと損をするかもしれない。しかしその裏付けとなるものが整えられていないのが学校教育の現状ではないでしょうか。ではどうすればよいのか。私はまず、国が着任3年目ぐらいの公立中学校の英語の先生全員を、1年間アメリカに留学させ徹底的に英語漬けにすべきだと考えています。語学を聞き

も話しもできないで教えるのは大変だからです。しかもこうすれば先生自身が国際的になるし、海外の人とのつながりもできるでしょう。年間1000人とすると100億円はかかりますが、一人が30人程度のクラスを1年間で5クラス教えれば、30年間で5000人近い子どもが被益します。こんな効率のいい投資はありません。

さらに高校以下の教育に大きな影響のある大学入試で、センター試験にTOEFLのようなテストを入れる。そうすれば子どもたちはみな使える英語を勉強するようになるはずですが、彼らがかわいそうです。

業には大学の帰国子女の枠のような外国大学卒の枠を作りたいと思います。商社だけでなく鉄鋼や電機メーカーなどでも、通訳とせず幹部要員とするのです。このように社会を整えたところで、大人が学生や若者の批判をするのはいいと思いますが、それが余りできていないところで、旗振り振るのでは彼らがかわいそうです。

私はこれが日本の強味だと考えています。安全は3.11で負の影響を受けましたが、反対に規律や礼節の面ではさらに評価を高めました。ルールを遵守する態度は、地道なODA活動ともあいまって外国人の人に好印象を与えました。外交面ではアメリカとの安定的な関係がありますし、経済面では純資産が世界ナンバーワン、2位の中国と3位のドイツを合わせた以上のものを持つています。世界一美しい国と叫ぶ必要はないかもしれませんが、けつして捨てたものではないのです。

## グローバル社会を生き抜くために



上智大学 特別招聘教授 藤崎 一郎先生

**Profile**  
1947年神奈川県生まれ。慶應義塾大学経済学部在学中に外交官試験に合格し、1969年外務省入省。米国ブラウン大学、スタンフォード大学での英語研修を経て、1977年在インドネシア大使館二等書記官、OECD代表部一等書記官、経済局国際エネルギー課長、在連合王国大使館参事官、アジア局外務参事官、北米局長、外務審議官(経済担当)、在アメリカ合衆国特命全権大使などを歴任。2013年より現職。慶應義塾高等学校出身。

### グローバル人材に求められる資質

グローバル社会とは、さまざまな国同士が国際的な場で渡り合う社会でもあります。その進歩は、そういう場面に立ち会える人が増えることを意味します。外交交渉を例にとれば、そこで求められるのは、落とし所を見極めてそこへ議論を持っていく戦略戦術、交渉術だったり、説得力を持って説明や議論ができることだったりしま

すが、何にもまして大切なのは相手との信頼構築です。外交交渉の舞台ではみな、この人物の言うことは信頼できるかどうかを常に見ているのです。ですからたとえ短期的には不利になっても、長い目では誠実に信頼関係を構築していく以外に成功する方法はないのです。

外交交渉の重要な場面では、一対二で二人だけでネゴシエーションするケースも少なくありませんが、たとえそこ

で私が「今自分は100を欲しい」と主張しているが、ギリギリ90までは降りられる。あなたも100をくれと言っているが、ギリギリ90で我慢できるだろう。そうであれば双方何とか95でどうだろう」と言ったとしまししょう。それを相手は逆手にとって、みながいる前で「あなたはさっき90まで降りられると言ったではないか」と出てきたら、その場で私の立場は失われます。これは相手にとっては成功かも知

れません。しかしこういふことをあちこちでやる人は、ひどい人間というレッテルが貼られますから、損得で言えば短期的には利益を得ても長期的には損をするわけです。ビジネスも同じで、信頼関係を基礎にして相手と付き合う方が、損得の観点からいってもお互いの利益になるのではないのでしょうか。

グローバル社会でも一つ忘れてはならないのは自分の弱味だけでなく強味についてもよく知りしかもそれを大事にすることです。バブル経済崩壊以降、日本人は自信を失ったとよく言われます。確かに政治面では目まぐるしく首相が代わったり、隣国とは歴史問題を抱えていたりしますし、経済面では大企業の多くが、米国のベンチャー企業と韓国などのアジア型巨大企業とに挟まれて苦戦を強いられています。また個々の日本人については、語学や個の力が欧米に比べると弱く、国際性も十分ではないとの指摘もあります。

しかしここでも本質をしっかりと見定める必要があります。私は語呂合わせでよく「アカセキレイ」といっています。こんな鳥は実際いませんが、「ア」は安全、「カ」は確実、「セ」が清潔、「キ」は規律で「レイ」が礼節で、

私はこれが日本の強味だと考えています。安全は3.11で負の影響を受けましたが、反対に規律や礼節の面ではさらに評価を高めました。ルールを遵守する態度は、地道なODA活動ともあいまって外国人の人に好印象を与えました。外交面ではアメリカとの安定的な関係がありますし、経済面では純資産が世界ナンバーワン、2位の中国と3位のドイツを合わせた以上のものを持つています。世界一美しい国と叫ぶ必要はないかもしれませんが、けつして捨てたものではないのです。

たしかに今日のようなグローバル社会の中では、語学力や国際性などの養成に関して日本の学校教育はやや頼りないかもしれません。高校や大学でプライベートなどを訓練しているアメリカなどに比べて、日本人は交渉下手だともよく言われます。しかし日本のOJT\*が、巨大な組織の中で採まれることもあってとても優れていることは忘れてはなりません。トップに上り詰めただけでなく、何十人に一人といった中間管理職でも、日本人には鍛え上げられた人というイメージがあります。実務能力だけでなく、判断力や交渉を詰める力に優れ、周りの人からの信頼

も厚い。私がこれまで見てきた範囲では、このような日本人は多く、国際舞台でも十分通用していると思います。ちなみに外交官にとって必要な能力には5つあると私は考えていますが、「コラム参照」そのうち一つだけが秀でているのではなく、バランスよく全てが備わっていることが必要ですが、そのために果たす組織の役割はとて大きいと思います。これは企業でも同じでしょう。確かに外国人に比べて、大学生の段階ではこれらの能力に関しても日本人は劣るかもしれませんが、社会に出れば引けを取らないと思っています。そもそも実社会から見れば、大学はほんの一部でしかないのです。

競争のない社会というものは現在のところ考えられません。しかもグローバル化が進展すればするほどそれは熾烈になる。そうした中で

国としては絶対に勝ち組に残らなければならぬと思います。そのためには弱味をカバーし、強味をさらに補強することです。これまでの日本は、ひたすら国際規範に従うだけでした。しかし今後は、自ら国際規範を作り、賢く活用していくことも考えていくべきです。これを私は、産官学一体で、しかも地方を含んだオールジャパによる第二の国造りと呼んでいます。今の日本に必要なのは、弱いところばかりを挙げ論うのではなく、自分たちの強味を大切に、弱いところは鍛え、もし強いところが時代に合わなくなってきたら合わせるなり、徐々にそれと入れ変えていくことです。あまりにも性急に、いいところまで潰すようなことは避けたいものです。

\* On-the-job Training、企業内で行われる教育、企業内教育、訓練の手法のこと。

### 外交官に求められる5つの能力

- ①ジャーナリストのように情報に敏感であること。
- ②政治家のようなコミュニケーション能力、判断力を持つこと。
- ③弁護士のように細かい詰めができること。
- ④ホテルのマナーや会社の経営者のように組織を隅々まで動かせること。
- ⑤人好きがすること。

これは外交官特有かもしれませんが、相手が付き合っ金銭的に得になる職業ではないですから、面白いとか、いい人だと思ってもらえるようでないとは誘ってくれないからです。もちろんすべてに秀でることは無理ですが、どれか一つだけを集中するのではなく、いずれでも平均点以上になるよう努めることが大事です。

グローバル人材になろう!

# 東大生が語る

東大では今春から、英語習熟度別クラス編成が行われるようになりました。  
 それだけ大学では「使える英語」を身につけることへの期待が大きいのです。  
 東大生(大学院生含む)に  
 高校時代の英語学習をふりかえってもらって、  
 思うことなどについてお話しいただきました。

※入試の成績によって3つのクラスに分けられるようになった。各クラス内における上位一割が授業を英語のみで行うクラス(グループ1)、続く二割が授業は日本語だが作文・ディスカッションなどや応用的な活動を含むクラス(グループ2)、残る六割が通常編成クラス(グループ3)に分けられる。グループ2と3の内、希望者は授業の全てを英語で行うEnglish Only Classに入れるが、グループ1のクラスとは別の開講となる。

## グローバル人材の基盤、 高校ではこんな英語を 勉強したかった!

### 高校の英語教育に 足りない点

—受験英語に+αで  
やっておけばよかった  
と思うことは?

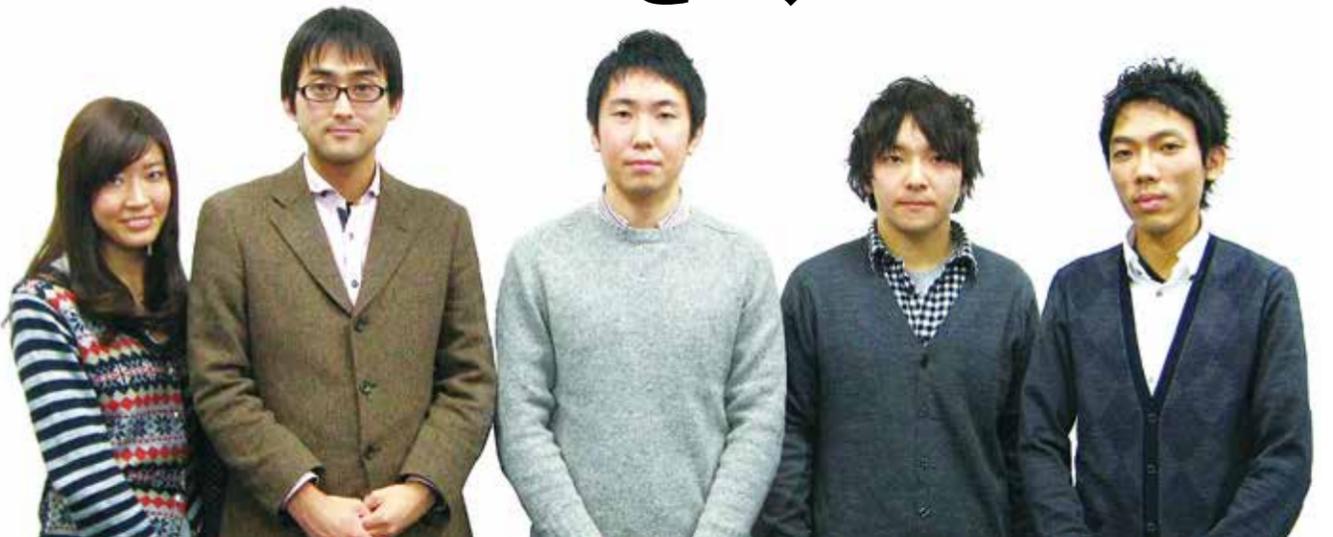
**神山**…高校の英語学習

では、限られた時間内で英文の大意をつかむ読み方が足りないと感じています。今の英語教育で重視されているのは、和訳や文の並べ替えなど、一文一文を丁寧に、文法的に見る読み方。もちろんそれも大事ですが、大学では、学会のプログラムを見て自分の出番をすぐに出す力が思った以上に必要です。

**漆原**…大学に入ると英文を読む量が一気に増えるので、ざっとした大意をつかむ読み方は絶対に必要です。

**神山**…大学入試でもっとそういう問題を増やすべきだと思っています。  
**番匠谷**…外国で行われている外国語教育と比較すると、日本の英語教育はインプットが多すぎて、リーディングが大きな割合を占めている。しかも教科書に載っている英文は専門的でレベルが高い。日本人はこんなに

難しい文章が読めるのに、どうして自分の考えていることを日常会話で表現するのが苦手なのかと外国の方に驚かされたことがあります。やはりリーディングにかけている時間に比べて、スピーキングやライティング、特に自分の思っていることを表現するトレーニングの比重が低いから、コミュニケーションに支障が出るのではないかと思います。ちなみに、学校の授業で、リーディングとオーラルの教材って違いませんか?



**漆原 正貴くん**

東京大学教養学部広域科学科4年。栄光学園高等学校出身。中学の時は学年最下位になるほど英語が苦手だったが、大学受験を機に一気に勉強し直し、人並み程度にはできるようになった。学年が進み、研究が進むにつれて英語を使えないとどうしようもない状況に投げ込まれ、結果的にいまは英語でコミュニケーションをとることに不自由はしなくなった。

**鈴木 駿平くん**

東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻修士2年。埼玉県立大宮高等学校出身。5才から中学3年まで文法や受験英語が中心の英語塾に通う。英語をしゃべらなければいけない環境に身を置いてわかったのは「英会話とは文法で話せるものではない」ということ。英会話は使ってこそ慣れて、スキルが伸びていくもの。

**日野 喜翔くん**

東京大学経済学部金融学科4年。桐蔭学園中等教育学校出身。中学入学後、初めて英語を学んだオードックスな学生だったが、中学2年の時に突然難しくなった定期試験対策として猛勉強した結果、勉強の要領をつかみ、それ以後、英語が最大の得意科目に。

**神山 翼くん**

東京大学理学部物理学科4年。栃木県立宇都宮高等学校出身。アメリカの大学院進学を考えているため、昨春からアメリカの研究室訪問をして教授と話すなど、英語による出願書類の準備などを行ってきた。

**番匠谷 光さん**

東京大学教養学部4年。私立白百合学園中学高等学校出身。幼少期をニューヨークで過ごし、中学時代からフランス語を第一外国語として学ぶ。中高時代から外国語やコミュニケーションが好きで、大学では言語情報科学を専攻。3回生の時に東大のICOMという制度を使ってイギリスのウォーリック大学へ1年間交換留学。

※座談会は2012年12月に開催しました。参加いただいたみなさんの肩書きは当時のものです。

いので、入試問題を考えるのは大変だと思えますが、

**番匠谷**…外国語教育に関する研究で、五感はすべて繋がっていることがある程度学問的に証明されています。発話や聴覚、意味を読み取るスキルや単語力などは総合的に関係しているから、どこかに偏りがあると効率的に英語を習得できない。入試でも、英語の成績上位層を見ると「この分野だけはできない」という人はいない。リスニングやスピーキングもできるからこそ、リーディングも速くなるし、すべてが補完しあって、相乗効果が英語力、外国語の力は伸びる。試験の形式だけを見るとリーディングの割合が大き

いからリーディングだけをやらばいいという結論に陥りやすいのですが、実際は他のものもできないとリーディングも伸びない。こうしたことがもたらされるのは、入試のためにもスピーキングなどをもっと勉強する人が増えるのではないかと思います。

**鈴木**…そもそも今の入試がリーディングやライティング偏重になっているのは、大学がそういう能力を欲しているからだと思います。英語の論文が読めない、英語の論文が書けない

という能力を欲しているからだと思います。英語の論文が読めない、英語の論文が書けない

いので、入試問題を考えるのは大変だと思えますが、

**オープンキャンパス**  
 7月14日(日)  
 8月24日(土)  
 9月15日(日)

- 内容
- ミニ講義 ●学科専攻紹介
  - 各種相談コーナー
  - 体育実技試験の説明
  - 施設見学 ●キャンパスツアー
  - 部活動見学
  - キャンパスランチ無料体験 など



国際学部 / 外国語学科(英米語専攻、中国語専攻、韓国・朝鮮語専攻、日本語専攻)  
 地域文化学科(アジア・オセアニア、ヨーロッパ・アフリカ、アメリカ各研究コース)  
 体育学部 / 体育学科(競技、教育、創造、健康、武道 各コース)  
 人間学部 / 宗教学科、人間関係学科(臨床心理専攻、生涯教育専攻、社会福祉専攻)  
 文学部 / 国文学国語学科、歴史文化学科(歴史学専攻、考古学・民俗学専攻)

**天理大学**  
 〒632-8510 奈良県天理市柚之内町1050  
 天理大学 入試部 TEL 0743-62-2164  
 http://www.tenri-u.ac.jp/

ないことは大きなデメリットになる。戦後は、こういう視点からリーディングやライティング重視の試験ができてきたのではないかと感じます。それが今後しゃべるほうにシフトしていかなくてはいけない——恐らくそういう人材が求められるようになっていくと思えますが——状況は変わりますが、試験制度も変える必要があるのではないかと感じます。高校生がまず目指すのは大学受験ですから、入試制度が変わればやらざるを得なくなるのではと思います。

**神山**…そうした考えが

日本中に浸透すればみんなスピーキングも訓練するようになると思います。現実的には中学生が「大学合格のために英語をしゃべろう」とはならないのでは。そもそもスピーキングを授業でどう扱うのか。上位5%くらいだけが活発に議論できても、全員が活発に議論に参加するのは今の状況では難しいと思

**鈴木**…僕は中高生の勉強では「やらざるを得ない環境に置く」というのが重要だと思いま

す。スピーキングの授業は、今なら海外の学生と Skype などで簡単に繋がることができるので、授業中に一対一で会話する時間を作ってもいい。設定したキーワードを聞き出せたら授業終了というのでもいいでしょう。あるいは、外国の人を連れてきて「一日街を案内してみよう」とか。

**一同**…面白い。

**鈴木**…追い込まれれば絶対しゃべりますからね。もちろん放り出すだけではなく、必要に応じて取っ掛かりにするといった工夫も必要。強制的に話す機会

があれば、効果はあるのでは。  
 漆原…一対一じゃないと話さない人ができてき  
 ますからね。東大では  
 コミュニケーション重  
 視の授業があります

## 恒例 A.O入試合格者は語る

### 慶應義塾大学 法学部に F.I.T入試で合格

**久保山**／高校1年の冬から1年間、異文化交流留学でブラジルへ。高校は3年で卒業できる目的は立っていたものの、大学入試においては非常に不利な状況でしたし、一時は進学を断念しかけていました。

そんな時、たまたま在日ブラジル人に日本語を教えるボランティアに参加したところ、そこで慶應義塾大学法学部政治学科のゼミがフィールドワークをしていることを知り、慶應を目指すようになりました。

同時期に、F.I.T入試で入学した慶應の学生が塾長を務めるA.O義塾という、A.O入試に特化した入試専門塾に入り、F.I.T入試での受験を決意しました。高3の6月ごろのことだったと思います。

僕はこの入試で人生が変わったと思っています。ポルトガル語はできませんが、英語ができるわけではありせんから、普通の入試では不利で

が、5人ほどのグループでディスカッションをすると、3人ほどは発言しないことがよくある。

学んでいない中学1年の頃から、オーラル・コミュニケーションの授業がありました。一対一のペアを毎回作って、ネイティブの先生が一人ひとりに点数をつ

けて、それが学期末の成績にも響く。当時は習熟度のレッスンドットで、日頃英語をしゃべっていないとレッスンのレベルが落ちるんです。そういう強制的にスピーキ

ングを訓練する仕組みが中1から高1までありました。

せんでしたし、効果はあったと思います。また、実際に定期的に英語を話す経験をしたことがとても大きいと思います。学校としては受験英語に専念して成

績を上げるのが第一目標かもしれないですが、そこにうまくスピーキングの要素を加えられると、英語学習全体に効果があると思います。



慶應義塾大学  
法学部政治学科1年  
**久保山 潤さん**  
(神奈川県立川和高等学校出身)

す。A.O義塾では、講師の方からの鋭い指摘を受けながら志望動機書を作成します。この過程で自分の志をどんどん確立していったことが、とてもよかったです。

志の高仲間たちと一緒に学ぶことができ、さまざまな分野で活動する仲間から自分の興味の分野を越えた話を聞く中で、自身の価値観も大きく変わりました。

「自分が将来何をしたいか。そのためにこれからどうしていけばいいのか」を、これほど多くの時間をかけて考えたのは生まれて初めて。この期間は、間違いなく僕の人生において貴重な財産になったと思います。塾長から「合格なんて目指すものじゃない。社会に貢献する人材になることを目標にしよう。ただ単に大学に入りただけの人

は絶対に落ちるよ」と言われたことが、とても印象に残っています。

大学在学中に留学もしたいと思っています。でも半年や1年では物足りないの、海外の大学院へ進学し、4年間しっかりと腰を据えて学びたい。

行先は、アメリカかブラジルを予定しています。将来は、在日ブラジル人が直面している諸問題の解決に取り組みたいですね。法学部政治学科に入学したということで、政治家になる道も考えています。あるいはNPO法人などで活動するという方法もあるかもしれません。在日ブラジル人問題に取り組み、ブラジルと日本を繋ぐという目的は定まっているので、どんな手段を選ぶかは、今後模索していきたいと思っています。

「自分が将来何をしたいか。そのためにこれからどうしていけばいいのか」を、これほど多くの時間をかけて考えたのは生まれて初めて。この期間は、間違いなく僕の人生において貴重な財産になったと思います。塾長から「合格なんて目指すものじゃない。社会に貢献する人材になることを目標にしよう。ただ単に大学に入りただけの人

は絶対に落ちるよ」と言われたことが、とても印象に残っています。

大学在学中に留学もしたいと思っています。でも半年や1年では物足りないの、海外の大学院へ進学し、4年間しっかりと腰を据えて学びたい。

行先は、アメリカかブラジルを予定しています。将来は、在日ブラジル人が直面している諸問題の解決に取り組みたいですね。法学部政治学科に入学したということで、政治家になる道も考えています。あるいはNPO法人などで活動するという方法もあるかもしれません。在日ブラジル人問題に取り組み、ブラジルと日本を繋ぐという目的は定まっているので、どんな手段を選ぶかは、今後模索していきたいと思っています。

「自分が将来何をしたいか。そのためにこれからどうしていけばいいのか」を、これほど多くの時間をかけて考えたのは生まれて初めて。この期間は、間違いなく僕の人生において貴重な財産になったと思います。塾長から「合格なんて目指すものじゃない。社会に貢献する人材になることを目標にしよう。ただ単に大学に入りただけの人

は絶対に落ちるよ」と言われたことが、とても印象に残っています。

### 早稲田大学 政治経済学部 A.O入試で合格



早稲田大学  
政治経済学部国際政治学科1年  
**大原 由佳さん**  
(渋谷教育学園渋谷高等学校出身)

大原／もともとは理系で

医学部志望。夢は国境なき医師団に入り、世界中でさまざまな病に苦しむ人々を助けることでした。もともとは政治経済はあまり好きではなかった。ニユースもほとんど見ませんでしたが、高校で所属していた英語ディベートの部活で国際問題や政治関係のテーマを課される機会が多く、調べていくうちに興味がわいてきたんです。

そのうち「医者は病気を治せるかもしれないけれど、その病気の根本的な原因である衛生問題、インフラ整備の行き届き、崩壊した政府といった問題を解決することはできない。もともと根本的な問題解決に携わる国際的

な仕事をしたい」と思うようになり、高3の時に思い切って文転しました。

その時点で早稲田大学政治経済学部のA.O入試を受けることは決めていたのですが、国立のほうは一橋大学法学部を目指し、一般入試の受験勉強もやりました。しかし、社会科科目の1年分の遅れを取り戻すのはかなり大変で、1学期の中間テストの世界史の点数があまりにひどく、落ち込んだこともありました。

夏休みは、高校の先生から500時間勉強するという目標を与えられていました。民間の国際交流プログラムに参加して、3週間アメリカへ行きました。国連本部や国際通貨基金(IMF)、アメリカ国防総省(ペンタゴン)などの機関を見学したり、職員の方のお話を伺ったりと、とても貴重な経験ができたので

ですが、目標の半分も勉強できませんでした。私は高校時代にやりたことは何でもやりましたし、決して模範的な受験生ではないかもしれませんが、その結果、受験対策はスタートが遅れてしまいましたが、やりたいことをやっていたからこそ、A.O入試に合格できたのだという実感をもっています。国際貢献ができる仕事をとりたい思いから、最初は外交官を志望していましたが、今は、国連やIMFなどの国際機関で国際公務員として働くことも視野に、今後いろいろな活動をしていきたいと思っています。

AO入試を受ける後輩へ具体的なアドバイスをお願いします。

久保山／小論文(講義理解テスト)対策として、毎朝、読売新聞の社説に対する自分の意見を600~1000字くらいにまとめていました。毎朝続けるためには、習慣づけることが大事です。あとはグループディスカッションの練習を、友だちやA.O義塾の仲間と一緒にやっていました。これは一人ではできませんからね。

大原／その大学に行きたいという気持ちはずっと持ち続けていることが大事です。その思いがあれば、自分を奮い立たせることができるはずです。私はA.O入試を通して自分を見つめることができました。あとは、適度な息抜きも大事ですね。

2014年4月  
**英語国際学部**  
 を開設!

**OPEN CAMPUS 2013**

中宮・学研都市両キャンパス同時開催日  
 7/27(土)・7/28(日)・9/15(日)  
 ●集合場所は中宮キャンパス ●参加申し込み不要、各日とも11:00より開始

中宮キャンパス単独開催日  
 12/21(土)  
 ●集合場所は中宮キャンパス ●参加申し込み不要、11:00より開始

学研都市キャンパス単独開催日  
 8/24(土)・11/2(土)  
 ●集合場所は学研都市キャンパス ●参加申し込みが必要、各日とも11:00より開始

中宮キャンパス 〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1  
 英語キャリア学部 英語キャリア学科  
 英語キャリア学科小学校教員コース(2013年4月開設)

学研都市キャンパス 〒573-0195 大阪府枚方市磯谷1丁目10-1  
 英語国際学部 英語国際学科 [2014年4月開設]

外国語学部 英語国際学科  
 短期大学部 英米語学科

**関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部**  
 入試部 TEL(072)805-2850 http://www.kansai-gaidai.ac.jp E-mail: nyushi@kansai-gaidai.ac.jp

# 学ぼう! 物理

第5回

第2部

IMDによる日本の国際競争力が30位に低下しているという話を、私たちはにわかに実感できない、いやむしろ実感したくないというのが本音かもしれない。しかし、それが紛れもない事実であるとしたら、それは何によるのか。よく言われるのが今と将来を支える人材の学力低下だ。だとするとこれは、日本社会が成熟していく中で必然的な帰結なのか、それともある種の政策の失敗なのか。第2部では他の国の人材養成を見ながら、このことについて考えてみたい。



本連載は、2012年1月27日、一般社団法人日本機械工業連合会 理数系グローバル人材育成・教育に関する調査専門部会によって開催されたシンポジウム「理系基礎学力の強化とモノづくり人材」のまとめを基に作成しています

## 調整能力と考える力の育成を

(株)テレグニクス代表取締役 デイビス・ピーター・クリストファー

物理教育を受けた人を採用している者としての立場から話をしたい。

私は高校でサイエンスと日本語を学んだ。オーストラリアでは、アジアの一員としての再認識が広がり始めた頃で、経済面でのインパクトから日本語が一番人気だった(アジアの言語は、他にインドネシア語、中国語があった)。それがきっかけで高校卒業後、1年間日本の高校へ留学した。オーストラリアでは、高校を卒業して大学の入学資格を取ってもすぐに入学しなくてもいいという、柔軟な制度が意識的、戦略的にとられている。

大学では再び日本に留学して物理を学んだ。日本の研究者との共同研究を始めたこともあって、ポストクの時にATR(株)国際電気通信基礎技術研究所、R&Dの会社)に入社した。ここは日本では珍しく企業との連携を進めていたから、様々な会社の人と一緒に仕事をすることができた。一方で、様々な分野の専門家が集まっているにもかかわらず、所属する企業の事情で、隣の席の人とあまり話ができないというふうなもったいない状況もあった。もちろん人材交流は活発で、当時日本にはまだポストク制度がなかったから、人の移動という面ではおおいに貢献していたと思う。その後日本でもポストクが生まれ、企業も採用するようになったが、当時としては貴重な存在だったと思う。もちろん今は、もっと時代のニーズに合った組織を考えなければいけないになっている。

ATRの人の使い方、育成方法に限界を感じて、数年前に独立した。この会社では、研究開発支援だけでなく、

その方法も開拓している。

理数系人材の育成はどの国でも課題とされているようだが、いろいろな国で教育を受けた人材を活用している立場から気付いた点を述べる。

まず、理数離れはやはり深刻だ。狭い領土にたくさんの方が住み、独自の言葉と文化を持つ日本が、高い生活水準を維持するには理数系人材は不可欠だからだ。もっともこれは世界全体の問題でもあり、日本の逆で広い国土に人間は少ないが、やはりアジアにありながら高い生活水準を維持したいと思っているオーストラリアでも事情は変わらない。どの国も理数系人材に頑張ってもらわねばならないのに、その育成と活用には様々な問題を抱えている。

オーストラリア政府の戦略的な取組の一つは、キャリアパスの多様化とガイダンスの強化だ。パスが一つだと、企業でも大学でも行き詰まれば止めるしかなくなり、せっかくの人材が散逸してしまう。多様なキャリアパスがあることを中学、高校時代から認識してもらっておくことも大事で、そのためのガイダンスも積極的に行っている。もちろん大学においてもだ。大学では、入学資格を得てからでも休学できるだけでなく、転校や転学部も容易だ。国土が広いため、家族の転勤などによって通学できなくなることも想定しているからだ。

企業の中でのキャリアパスも多様で、給与体系や身分もそれに合わせて様々な用意されている。私は物理の出身で技術支援の専門家だが、オーストラリアではとても重宝がられている。長

年、世界一の実験装置を育ててきた人は、そのことで世界一の技術を持っていると見なされるのだ。大学にはそれが一つの競争力であるとの認識があって、先生は変わっても実験環境を維持すべく、それなりの給与で、長期間に亘ってそれだけをやらせてもらえる。

オーストラリアでは、少ない人口を補うには教育が重要であるとの認識から、海外からも積極的に学生を呼び込んでいる。とくにアジアのインド、ベトナムなど、歴史的に関係が深い国からは留学生が多い。英連邦に所属していた国は、教育制度そのものが近いということもある。もちろんそれらの国からの留学生でも、税金は払っていないということで、地元生よりも授業料は高い。留学生を受け入れるメリットは、国としての信用を得るためだけでなく、交流が盛んになることで、地元の学生の視野が広がることにもある。また優秀な留学生が卒業して残ってくれば、国としての人材の確保にもつながる。

政府は小学校でのサイエンスリテラシーの育成も重視している。これには、将来理数系を専門にしない人にも、サイエンスの考え方、サイエンスの社会における役割や歴史を広く理解してもらいたいということと、そのことで理数系の人の活躍する環境をよくしようという狙いがある。最近、日本では放射能の影響に関する混乱があったが、これなどは、サイエンスの課題と社会のリスクの切り分けが、いかに大事かが明るみに出た典型的な例だと思う。

国際化が大前提のわが社では、そのために必要な様々な工夫をしているが、中でも重視しているのが監督する

人間と各メンバーとのコミュニケーション、およびそれを円滑に行うためのプランニングだ。それを具現したのがプロジェクト制で、様々な面での切り替えがしやすいというメリットもある。期限を切ることで、してもらう仕事についても納得させやすいし、給与や求めるスキルも、その中で考えることができる。

人材を柔軟に活用ができるよう、テレワークなども重視して、外国にいる人もチームに入れて活用している。これには技術的なツールに加えて、作業時間やミーティングをするタイミングなども工夫しなければならないが、理数系の人材が活躍しやすい環境になっていると思う。

私は日本人同士の通訳に入ることが多い(笑)。プロジェクトの初めは、メンバーそれぞれの会社のダイナミクスでうまくいくが、お互いプロジェクト以外のことで拘束条件もあるから、途中でずれ始めるとうまく連携が図れなくなることも多いからだ。外国のチームが入ってきた時には、理数系人材にも調整能力が求められる。

調整能力に欠かせないのはコミュニケーション能力だが、日本人の学生にはこれが欠ける人が多い。日本人同士だと、日頃、一緒に昼食をとっていても相手の状況を理解していないことさえある。だから、日本人にはあえてたくさん質問し、質問をたくさんしてくる外国人は放っておくなどの調整も心がけている。

考える力が大事という点では、たとえば $\pi$ 、円周率の小数点以下の桁数がよく話題になるが、問題は数字の意味をよく認識して判断できる人が少ないということだ。誰に伝えようとしているのか、

なぜ今、このテクニックを使ってこういうことをしているのかわからない。電卓で計算したら10桁まで出てきたから、とりあえず10桁まで書くというように、あまり深く考えずにやってしまう人も多い。求められている数字は何のためなのか、その数字を誰に伝えるのか、それによって、求められるものが違うはずだ。全体の大きさの違いがわかる程度でいいならその違いが見分けられる程度でいいし、精度を表現したいのなら桁数は増やさねばならない。丸い庭にどれだけ土を入れればいいのかなら、 $\pi$ は概算で3でいいが、レーザの波長を合わせる場合には10桁必要だ。

こういうことを教えるのに相応しいのがどの段階かは知らないが、大学院を出てもわかっていない人は多い。見る人の立場によって必要な桁数は決まってくるということを、あらかじめ会社で教えねばならないわけだ。こういうことがわかってきた時には、理数系人材にも調整能力が求められる。

今、われわれが直面している課題は多いが、その多くは複雑化していて、学際的な能力がないとその切り分けができない。たとえば私は、通信の分野で、電波の伝播とプロトコルのロジックを専門にしているが、問題の解決にはその切り分けが必要だ。

もちろん、ただ考える力が衰えてきたとばかり嘆いていても始まらない。考えなくなる理由の一つは考えてもわからない、考えても答えが出ないこと、言い換えると、考えるツール自体を持っていないことだ。解析力を支援するツールの開発も必要ではないだろうか。

## どうして 数学を学ぶの?

第35回

# 尺度水準のはなし

御園 真史

島根大学教育学部数理基礎教育講座准教授、博士(学術)

研究室公式ホームページ <http://misono-lab.info/>  
ツイッターID miso\_net

### ■階数表示のいろいろ

日本の多くの建物は、地面と同じ高さの階を1階とし、その上の階を2階、さらに上の階を3階……、というふうに階数表示をしています。一方、1階よりもひとつ低い地下の階をB1、さらに下の階をB2……、というふうに表しています。ちなみに、このBはbasementの略です。

ところが、当たり前になっているこの階数表示の方法が、海外に目を向けると違う方法で表されている場合もあります。

写真をみてください。これは、ロンドンのヒースロー空港のTerminal 1に設置されていたエレベーターの階数表示を撮影したものです。0階がありますね。また、-1階もあります。ヨーロッパなどでは、日本でいうところの1階をground floorと呼び、それをこの写真のように0階と表示することもあります。また、日本での2階が1階、3階が2階になっています。ground floorから1つ上上がった階といったような意味合いでしょうか。逆に地下1階が-1階と表されています。一方、日本での表示の仕方は北米などでも使

われています。このように地域によって階数表示の仕方は異なるのです。ヨーロッパなどでの階数表示は日常生活の中でみられる負の数の例ともいえそうですね。

ヨーロッパなどでみられる方法で表示すると、2階上ことは今いる階に2を足せば求められますし、3階下ことは3を引けば求められますので、加法や減法に意味が出てきます。そういう意味では、ヨーロッパなどでの階数表示(…、-2、-1、0、1、2、…)は、前回の尺度水準の話でいうところの「間隔尺度」といえそうですね。また、日本の階数表示(…、B2、B1、1、2、3、…)は「順序尺度」といえそうですね。間隔尺度は、「等間隔に振られた目盛のもの」と説明しました。間隔尺度で表された量の1の違いは、4と5の違いであっても、8と9の違いであっても同等とみなされます。一方、間隔尺度の性質に加え、絶対的な0が存在する尺度が比例尺度でした。個数、長さ、質量、体積などがその例です。

### ■各尺度での計算の可能性と変換

以上でみたように「間隔尺度」では、和や差に意味を持ちます。

「比例尺度」では、和や差に意味を持つばかりか、比も意味を持つようになります。質量の例を考えてみると、30kgは10kgの3倍ですが、これは、20の3倍が60であるというときの3倍と同じ意味になります。どちらも、片方の3つ分という同じ意味で用いているからです。

一方、複数の尺度の間で単位変換することがあります。例えば、間隔尺度である温度の測り方には、日本で用いられている摂氏(°C)とアメリカなどで用いられている華氏(°F)があります。華氏温度Fと摂氏温度Cの関係式は、 $F = \frac{9}{5}C + 32$ という1次関数の関係です。これは、間隔尺度間の変換をしているといえます。華氏温度の目盛の間隔は摂氏温度の目盛の間隔の95倍になっており、0度がどのぐらいの熱さを表しているのかも異なっています。このことから、間隔尺度の0は、相対的なものだとわかります。

ところが、絶対尺度同士の変換は様子が少し違います。例えば、同じ長さの単位であるキロメートルとマイルの間には1マイル=1.609344キロメートルという関係があります。間隔尺度と違って0は同じ意味を持ち、0マイル=0キロメートルです。比例尺度では、0は長さをもたないという絶対的な意味を持っているのです。



第10回 子ども学会議

つながるチャイルドサイエンス 遊びと学び —おもちゃ・ロボット・メディア—

開催日 2013年 10月12日(土)13日(日)
場所 岡山県立大学 (岡山県総社市窪木111)
参加費 学会員4,000円/一般6,000円 学生2,000円/懇親会4,000円

プログラム
10月12日(土)
10:00 受付開始
10:30 開会式
10:40 基調講演1 「ハラッパで三兔を追う」
原島 博 (東京大学名誉教授)
12:00 昼食
13:10 総会
13:40 基調講演2 「子どものころを育むようにロボットのココロを育てる」
浅田 稔 (大阪大学教授)
15:10 ポスターセッション
17:30 イブニングセッション(懇親会, 優秀賞表彰式)
10月13日(日)
9:30 受付開始
9:30 ポスター展示
10:00 シンポジウム「つながるチャイルドサイエンス」
渡辺 公貴 (タカラミー-欧米戦略本部開発グループリーダー)
三宅 なほみ (東京大学教授)
竹林 洋一 (静岡大学教授)
座長:一色 伸夫 (甲南女子大学教授)
12:10 昼食
13:00 10周年記念シンポジウム「チャイルドサイエンスの未来」
内田 伸子 (筑波大学監事, お茶の水大学名誉教授)
原島 博 (東京大学名誉教授)
坂上 浩子 (NHKエデュケーショナル子ども幼児部制作主任)
座長: 榎原 洋一 (お茶の水女子大学教授)
10周年記念講演「子どもは未来である」
小林 登 (日本子ども学会理事長, 東京大学名誉教授)
15:15 小林 登 (日本子ども学会理事長, 東京大学名誉教授)
15:45 閉会式



シンポジウム

司会 (八木匡 先生[同志社大学]): 理数人材の育成について、またその際の物理の重要性についてみなさんからお話いただいたが、少し別の観点から、創造力が大事だということ

加藤五郎先生[カリフォルニア・ポリテクニック州立大学]: 確かにアメリカでは、出る杭は打たれないどころか、出た方がいいというぐらいに、独創的であることを激励する風潮がある。

八木: 日本人研究者は創造力という点で、他の国のより劣っているのだろうか?

ピーター・クリストファー: 出方に違いがあるだけで、創造力とはどんな人間にも共通してあるものだと思う。オーストラリアの教育はこれまで、創造力の重視と基礎力の重視という二つの考えの間で振り子のように揺れてきた。

オーストラリアでも、アメリカほどではないにしても、アイデアは評価される。アメリカとは少し違うが、やはりイギリスの伝統を受けて、自分というものをしっかり持つことが大切だとされているからだろう。

八木: 創造力と物理の関係については?

榊裕之先生[豊田工業大学長]: 自身、高校時代、数学は面白いとは思わなかったが、様々な現象をほんのわずかな数式、原理に還元できる物理という学問はとても面白かった。

八木: 日本の国際的な産業競争力を今後高めるには、創造力、すなわち新しい価値を生み出す力が不可欠だと思うが、創造力を高める教育について考えるとき、その一つのキーワードになるのが物理だと思う。

八木: 創造力、新しい価値を生み出す力を持った人材を育てるには、理系3科目をしっかり勉強させること、なかでも物理が大事で、それを学習させる際のポイントは、本質を考えさせること、つまり何が不思議さを感じさせること、不思議だと思わせることだと。ここが

出発点で、それを高校卒業までに身につけさせるべきだと考えてよいか。

ピーター・クリストファー: 創造力については、自分の考えを持つこと、自分で考える力を身につけることが大事。私は会社で意見を主張するのではなく、今考えていることを述べなさいというように、コミュニケーションと考えることを一体化させるよう指導している。

八木: ドイツでは進路選択の時期が早い、そこに問題はないのか?

ボルガー・ヴィッティヒ[ドイツ機会工業連盟日本代表事務所代表]: 子どもによって発達段階が異なるから、今のシステムが絶対に正しいとはいえない。また一旦決めると後からは変更もしにくい。しかし今のところは、若い時から訓練を積んでおかないと専門職になるのに時間がかかりすぎる、という考え方でやっている。

八木: 韓国の場合、厳しい受験競争の中で英才教育は成り立つのか?

金 東煜[大邱教育大学科学教育科教授]: 英才クラスは10年前からあったが、最近とはくに力を入れていて、今では小学校1校に理数クラスが1クラスある。中心は理科・数学で、それに情報を加えた3科目を重点的に教える。理数クラスを教えるには教員も厳しい研修を受けなければならない。生徒は学力テストとIQテストで、一部は推薦でも選ばれる。最近では全生徒対象の創造性テストも行われている。成績優秀者は英才学級へ入れるが、その後、地域のエリートセンターへも入ることもできる。

書評

ことばの発達の謎を解く

今井むつみ
朝ちくまプリマー新書
2013年

雑誌 恵子

大阪教育大学附属高等学校天王寺学舎出身、京都大学文学部卒業、京都大学大学院農学研究科博士課程修了。大阪産業大学他非常勤講師。著書に「空腹について」(青土社)、「エロコース 存在と食について」(人文書院)、「快樂の効用」(ちくま新書)。

学校で英語を学ぶのは大変なのに、どうして英語圏に生まれ育った人は苦もなく聞き取れて話せるのだろうか。同様に、日本で生まれ育った人は、日本語と呼ばれるものを文法などきちんと習ったわけでもないのになぜ「自然に」話せるのだろうか。

ことばを話し出した子どもたちは、よく言い間違いをします。おとなたちは、これを「可愛い」「おもしろい」と微笑ましく受け止めるけれども、実は、こどもたちの頭の中では、必死にことばとの格闘がなされていてその結果の言い間違いであるということなのだそう。たとえば「血が出た」というのを「チガ・ガ・デタ」と言い間違ってしまうのは、単語と機能語(この場合助詞)の区別を混乱しているから。

このようなことはどうしてわかるのでしょうか。著者の専門は認知科学、言語心理学、発達心理学。赤ちゃんにいろんな実験をしてことばの発達を探っています。入ってくる情報を発見・創造・修正して音をことばとして習得していく過程は子どもがシステムを自分の中で構築していく過程でもありとてもスリリングですが、著者がどう実験を編み出して探っていくかも興味深いです。また、その実験を見ることによって、言語-日本語の特徴というのも明らかになっていきます。

京都固有の大根《京大根》に魅せられて、育種学と植物バイオテクノロジーの分野から、高品質な大根づくりを目指すとともに、花粉を作らない雄性不稔(ゆうせいふねん)という性質の遺伝的起源を明らかにしようと研究に励まれている山岸博先生に、京野菜の魅力をご紹介いただきます。今回は、夏に欠かせないカボチャについて教えていただきました。

※京都固有の野菜を最近では「京野菜」とブランド名で呼ぶようになりました。千枚漬で有名な聖護院カブラ、賀茂ナスなどが有名。



第2回

京都産業大学 総合生命科学部 生命資源環境学科 教授 山岸 博先生

Profile
農学博士。専門は植物育種学、植物バイオテクノロジー。自然豊かな伊那の地で育ち、田植えの時期に用水路や川を上ってくる魚を取るのが遊びという少年時代を過ごす。現在、京都産業大学副学長、植物ゲノム科学研究センター兼務と多忙を極めるが、花粉を作らない性質を持つ(雄性不稔)ダイコンの遺伝的起源を自身の手で解き明かす夢を持ち続ける。2008年3月、日本育種学賞受賞。長野県伊那北高等学校出身。

ひょうたん形の鹿ヶ谷南瓜

京都の南瓜といえば、ひょうたんに似た変わった形をしている「鹿ヶ谷南瓜」が有名です。鹿ヶ谷は「しがたに」と読みま

す。南禅寺の北東、銀閣寺の南西部にあたる地名でもあります。鹿ヶ谷南瓜は200年以上前に、奥州・津軽の里からもちいらった種子を使って栽培を始めたのが起源とされています。初めはふつうの形をしていたそうなのですが、幾年も栽培を続けるうちにひょうたん型になったと『京都府園芸要鑑』に記されています。形も大きく、収量も増えたため、優良品種として普及して、明治時代の後半には京都市民の消費するかぼちゃのほとんどを占めるようになってい

ました。鹿ヶ谷地区にある安楽寺で毎年7月25日に行われる「かぼちゃ供養」のため、この品種の栽培が復活しつつあります。見つけたら、ぜひ食べてみてください。



うちの一農家は、京都の鹿ヶ谷地区にある安楽寺で毎年7月25日に行われる「かぼちゃ供養」のため、この品種の栽培が復活しつつあります。見つけたら、ぜひ食べてみてください。

かぼちゃは体内でビタミンAになるカロチン、ビタミンC、ビタミンE、カリウム、亜鉛、食物繊維など栄養価の高い野菜で、細胞老化が原因の病気の予防の効果もあるといわれています。昨今では綾部市でも新たにこの品種の栽培が復活しつつあります。見つけたら、ぜひ食べてみてください。

# 京都文教大学 総合社会学部



京都文教大学 総合社会学部 学部長 松田 凡先生

Profile 1982年京都大学経済学部経済学科卒業。京都市経済局に勤務した後、京都大学大学院農学研究科入学。94年同大学院農学研究科農林経済学専攻博士課程単位取得満期退学後、京都文教大学へ。専門は文化人類学、アフリカ地域研究。NPO法人グローバル人材開発センターの理事も務める。洛星高等学校出身。

## 地域マネージャーと文化コーディネーター養成プログラム

大学のモットーは「現場主義教育」で、学生主体の地域連携活動に大学が助成金を出す地域連携学生プロジェクトをはじめとして、フィールドワークなどの実践的な学びの機会を多数設けています。なかでも総合社会学部では、文化の専門家として地域や社会に貢献する「文化コーディネーター」の養成を目的としたプログラム※1を2008年から用意して、今年からは地域課題を市民主導で解決する際のマネージャー役になる「地域マネージャー」を養成するプログラムも創設しました。

「グローバルな視野を持ちながらも、地域に根をはり、地域に貢献する生き方のモデルをオール京都で提唱したい」とおっしゃるのは、今春、学部生向けの新たな職能資格制度の開発などを目的して設立されたNPO法人「グローバル人材開発センター」の理事をつとめる京都文教大学総合社会学部長の松田凡先生。これからの時代に求められる「グローバル人材」とは、その育成を目指す京都文教大学の取組を中心にお聞きしました。

# グローバル人材を育てる!



学生プロジェクト団体「宇治☆チャレンジャー」が企画したイベント「親子で楽しむ宇治茶の日2012」の様子。学生が企画した宇治茶スタンプラリーが大好評で、5000人以上が参加しました



修学旅行で宇治を訪れた中学生を本学学生がナビゲートする「たび旅」で鞆飼いをガイドする本学学生と修学旅行生

## 京都府南部地域で「グローバル人材」を育てる

地域公共政策士は、2011年に京都府内の大学・大学院や自治体、NPO、経済団体などが連携して創設された民間資格で、産官学民の壁を越えて協働し、地域活動や政策形成を主導できる地域公共人材に求められる能力を可視化した全国初の地域資格です。資格取得には各大学やNPO等で開講さ

ただ地域公共政策士は主に大学院レベルの資格で、プログラムの内容も「公共」の色が濃い。そこで、学部卒の学生を対象に、卒業後の進路の大部分を占める企業と連携した新しい職能資格制度を開発しようと京都の5つの大学※3と京都経済同友会など京都の4つの経済団体とが共同で今春設立したのがNPO法人「グローバル人材開発センター」(以下、センター)です。

「グローバル」は「グローバル」と「ローカル」を合わせた混成語で、私たちは「グローバルな視点で物事を考える能力を有しながら、地域経済・地域社会(ローカル)の持続的発展に情熱を注ぐ人材」を「グローバル人材」と定義しています。グローバル化が急速に進む中、世界中を飛び回って活躍する人も必要ですが、自分の「地域」を

持つて、その地域に根をはり、地域経済や社会に貢献しながら世界とつながるような生き方をする人も必要です。グローバル展開を目指す中小・中堅企業の多い京都にはその受け皿もあります。センターでは今後、「グローバル人材」資格の開発とその認定を目指すとともに、資格取得のための教育プログラムの作成も予定しています。本学は大学のある京都府南部地域で経済界とのネットワークを強めていて、経営者の方に講義をお願いしたり、インターンシップで学生を受け入れてもらったりと、協働教育プログラムの開発を進めています。

※3 京都産業大学(代表校)、京都府立大学、京都文教大学、佛光大学、龍谷大学の5大学。産学連携による「グローバル人材」の育成と地域資格制度の開発として平成24年度の文部科学省の大学間連携共同教育推進事業にも選定されている。

## 教室の外へ飛び出そう! プログラムの鍵はアクティブラーニング

「グローバル人材」育成カリキュラムの中心となるのが、企業などと連携し、インターンシップをからめた課題解決型の教育プログラム、PBL(Project Based Learning)です。本学では2回生以上を対象にプロジェクト科目としてPBLを取り入れていて、これまで、宇治市観光協会、宇治市役所、宇治茶業界、近隣企業、福祉の現場などと連携しています。PBLではチーム毎に課題解決にあたり

ますから、協調性やコミュニケーション力などが培われますし、課題解決のために必要なものを自ら学ぶという、本来の学びの順序を知ることができます。高校までは、勉強は教室で学ぶものというイメージが強いかもしれませんが、大学では、課外で学外や社会の中で学ぶことも多い。学びを自分で作り出すのが大学生とも言えます。

私が2004年から行ったPBLに「エチオピアに小学校を」というものがあります。専門の文化人類学に関連したもので、その目標達成には、英語も勉強しないといけないし、人類学についても、NGOなどについても学ばなければいけないといったように、学生は目的に合わせて自分の学びをデザインすることができるようになります。早いうちでこうした力をつけることができれば、大学にはたくさんさんの講義やチャンスがあり、実践的に大学を使えるようになりますし、就職活動でもアピールしやすいようです。

京都文教大学 / NEWS | 臨床心理学部に小学校教諭免許状などを取得できる「教育福祉心理学科」を開設

京都文教大学 NEWS 2 総合社会学部がパワーアップ!!

来場者にオリジナルグッズプレゼント

# オープンキャンパスに、おいでやす。

## 京都文教大学 臨床心理学部

臨床心理学科  
こども・青年コース/生命・医療コース  
ユング心理学コース/対人社会心理学コース  
心理学総合コース

教育福祉心理学科  
こども教育心理専攻(小学校教員養成課程)  
保育福祉心理専攻(保育士・精神保健福祉士養成課程)

## 総合社会学部

経済・経営コース/メディア・社会心理コース  
公共政策コース/観光・地域デザインコース  
国際・日本文化コース

日時 申込不要 入退場自由 10:00~15:00 大学・短期大学共通

# 8/3 土 . 8/4 日 . 9/8 日

## 京都文教短期大学

ライフデザイン学科/食物栄養学科/幼児教育学科

〒611-0041 京都府宇治市榎島町千足80番地  
TEL: 0774-25-2488 http://www.kbu.ac.jp